

消 防 年 報

平成27年版

南 但 消 防 本 部

は し が き

この年報は、南但消防本部の消防現勢及び平成26年中の消防業務に関する事項について収録し、今後の消防業務の推進に関する基礎資料とするとともに、当本部の実態を紹介するために編集しました。

内容は、平成27年4月1日現在とし、予算及び予防関係については会計年度、火災・救急・救助関係については暦年、その他は必要に応じ当該表に記載年月日を表示しています。

また、平成24年度以前の統計については養父市消防本部、朝来市消防本部の合算により作成しています。

平成27年6月

南但消防本部

もくじ

南但消防本部の概要	1
構成市の概要	2
消防本部・消防署所の概要	3
南但消防本部組織・階級別職員配置状況	4
消防車両一覧	5
沿革	6
平成26年度中の主要行事	12
おもな出来事	14
一目統計	16

【概要編】

管理	18
予防	19
災害活動の概要	
火災	20
救急	22
救助	24
通信	26

【統計資料編】

管理編

平成26年度予算状況	29
平成25年度職員給与費等の実態	29
階級別勤続年数	30
年齢別職員構成	30
研修派遣状況	31
階級別資格取得状況	32
平成25年度一般会計決算の概要	33
応援協定等の締結状況	34

予防編

防火対象物の概要(地域別・中高層建物)	36
防火対象物の概要(査察件数・防火管理者・消防計画)	37
確認申請処理状況	38
消防教室実施状況	38
危険物施設数及び立入検査回数	39
危険物施設設置許可数及び変更許可の状況	39
市別・数量別危険物施設数	40
市別・類別危険物施設数	40
各種届出等受理状況	41

警防編

火災

年次別火災発生状況	43
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
使用した消防水利	46
覚知から現場到着までの所要時間	47
放水開始から鎮火までの所要時間	47
出火原因	48
用途別火災発生状況	49

救急

年次別救急出動状況	50
月別救急出動状況	51
曜日別救急出動状況	52
時間別救急出動状況	53
覚知から現場到着までの所要時間状況	54
覚知から医療機関収容までの所要時間状況	54
年齢・傷病程度別搬送人員	55
ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況	55
医療機関別・事故種別搬送状況	56
医療機関別・市別搬送状況	56
救急隊の行った応急処置状況	57
普通救命講習実施状況	57

救助

年次別救助発生状況	58
月別救助発生状況	59
曜日別救助発生状況	60
時間別救助発生状況	61
事故種別・傷病程度別状況	62

通信

気象観測状況	63
--------	----

装備

消防用機器の配置状況	64
------------	----

協力団体

消防団組織図	66
協力団体組織図	67

南但消防本部の概要

1 位置と地勢

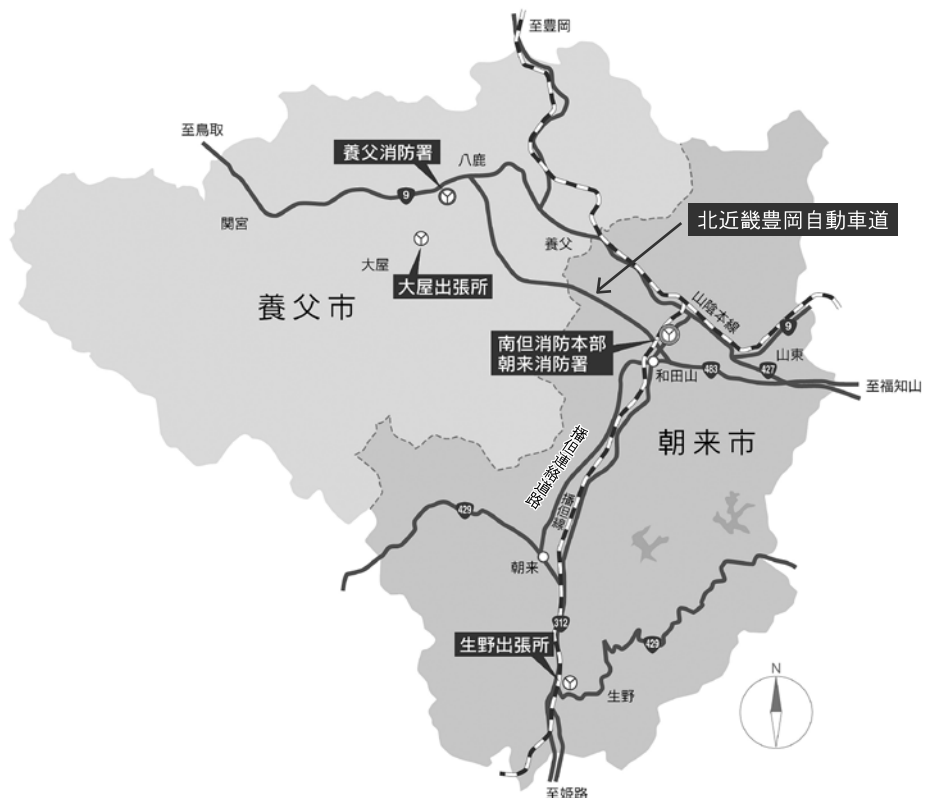
南但消防本部のある南但馬地域は、兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号線及び427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。

朝来市には国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が、養父市・朝来市とも国道9号線に沿ってJR山陰線が走っています。平成24年11月には北近畿豊岡自動車道の和田山JCT・IC～八鹿氷ノ山IC間が開通し、但馬山陰地方と京阪神とを結ぶ交通の要衝にあります。

管内には市川が北から南に流れ瀬戸内海に注ぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海に注いでおり兵庫県の南北の分水嶺となっています。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山を始め鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺跡、また、竹田城跡や生野銀山などの中世から近世にかけての史跡などが数多くあります。



2 管轄人口と世帯数

市町名	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)
養父市	25,373	9,658	422.78
朝来市	32,131	12,309	402.98
合 計	57,504	21,967	825.76

H27.3.31現在住民基本台帳人口による

構成市の概要

養父市 「響きあう心 世界へ拓く ^{ゆい}結の郷 やぶ」



三角形は兵庫県最高峰の氷ノ山を象徴したもので、向かい合う2本のラインは、養父市を流れる大屋川、八木川を表している。

【市花】ミズバショウ

【市木】ブナ

【主な産業・経済】

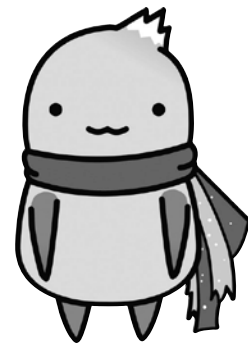
大根、朝倉山椒等の農産物、但馬牛、八鹿豚などの畜産物

【観光・文化・歴史】

氷ノ山(兵庫県最高峰)、天滝(日本の滝100選)

明延鉦山、ハチ高原、名草神社三重塔

全日本ビバホールチェロコンクール



養父市イメージキャラクター
やっぶー

朝来市 「人と緑 心ふれあう 交流のまち 朝来市」



朝来市の頭文字である「ア」をモチーフとして、円は人々の交流を、太陽の光は4つの町を象徴し、緑豊かな山から朝日が昇ってくる様子を表現している。

【市花】さくら

【市木】けやき

【主な産業・経済】

金属バネ工業、家具作り、岩津ねぎ

【観光・文化・歴史】

竹田城跡(日本100名城)、茶すり山古墳(近畿最大円墳)

生野銀山及び鉦山町の文化的景観、白井大町藤公園

神子畑鉄橋(日本最古の全鉄橋)



朝来市マスコットキャラクター
ちゃあいね

消防本部・消防署所の概要

消防本部・消防署

南但消防本部・朝来消防署

【住所】

朝来市和田山町枚田436番地の1

【建築年月】

昭和51年12月(平成16年9月耐震化工事完了)

【敷地面積】

2,651.4㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 3階建一部鉄骨造



消 防 署

養父消防署

【住所】

養父市八鹿町高柳173番地

【建築年月】

昭和53年12月(平成26年12月耐震化工事完了)

【敷地面積】

1,368.81㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



出 張 所

朝来消防署生野出張所

【住所】

朝来市生野町口銀谷222番地の1

【建築年月】

昭和52年11月

【敷地面積】

585.55㎡

【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



養父消防署大屋出張所

【住所】

養父市大屋町樽見549番地

【建築年月】

昭和54年12月

(平成26年8月耐震化(事務所棟建替)工事完了)

【敷地面積】

751.93㎡

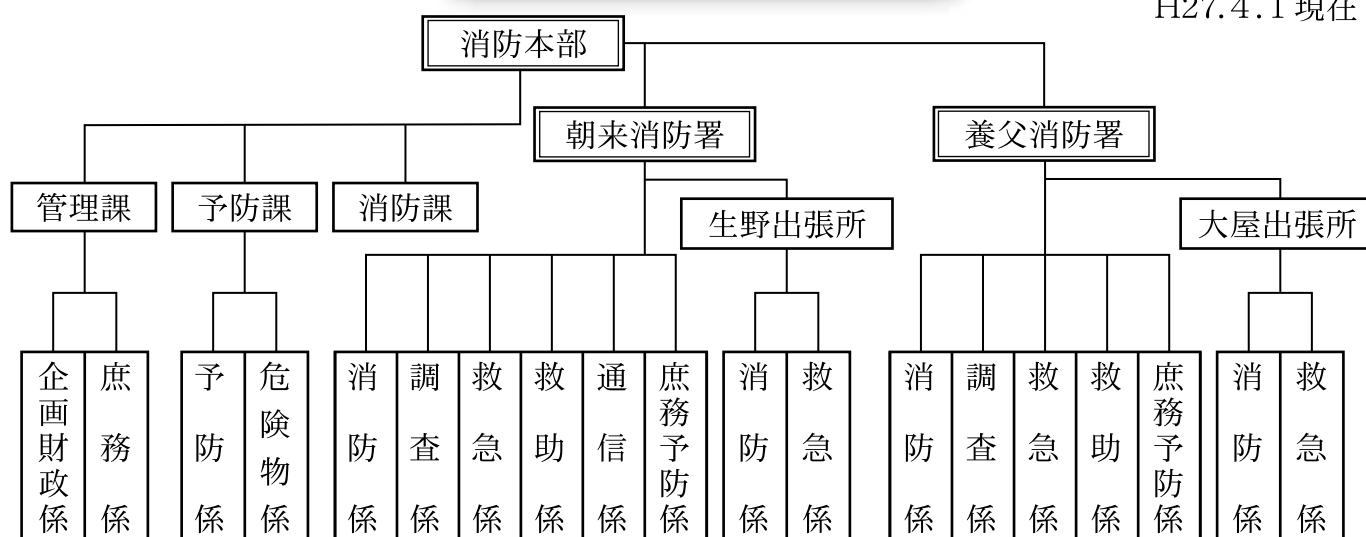
【構造】

鉄筋コンクリート造 2階建



南但消防本部組織

H27.4.1 現在



階級別職員配置状況

H27.4.1 現在

区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長 消防士	計
消 防 本 部	消防長	1					1
	次長		1				1
	管理課		2	4		7	13
	予防課		3	3	1	1	8
	消防課		10	5			15
朝 来 消 防 署	署長		(1)				(1)
	副署長		1 (1)				1 (1)
	庶務予防係		(1)	(6)	(1)	(1)	(9)
	第一部		(3)	(6)	1 (1)	5	6(10)
	第二部		1 (2)	3 (4)	1	5 (1)	10(7)
	生 野 出 張 所	所長	(1)				(1)
		第一部	(1)	3	1		4 (1)
		第二部	1	3	1		5
養 父 消 防 署	署長		1				1
	副署長		1				1
	庶務予防係		(1)	2	2	1	5 (1)
	第一部		1 (2)	5	(2)	2	8 (4)
	第二部		2 (1)	4 (1)	2	1 (1)	9 (3)
	大 屋 出 張 所	所長	(1)				(1)
		第一部	(1)	3		1	4 (1)
		第二部	1	2	1	1	5
計		1	25(16)	37(17)	10 (4)	24 (3)	97(40)

※() は兼務職員を示す。

消防車両一覧

(H27.3.31現在)

種 別			メーカー	導入年度	経過年数	エンジン
朝来消防署	1	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型	日野	平成15年度	11 年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	日野	平成15年度	11 年	ディーゼル
	3	はしご付消防自動車 15m 級	三菱	平成7年度	19 年	ディーゼル
	4	救助工作車Ⅱ型	日野	平成13年度	13 年	ディーゼル
	5	高規格救急車	トヨタ	平成26年度	-	ガソリン
	6	高規格救急車	トヨタ	平成24年度	2 年	ガソリン
	7	高規格救急車	トヨタ	平成19年度	7 年	ガソリン
	8	指揮車	トヨタ	平成19年度	7 年	ガソリン
	9	指揮支援車	日産	平成21年度	5 年	ガソリン
	10	広報車	トヨタ	平成23年度	3 年	ガソリン
	11	カーゴトレーラー	シーマリン	平成21年度	5 年	-
	12	指令車	ホンダ	平成21年度	5 年	ハイブリット
生野出張所	13	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A 型	三菱	平成14年度	12 年	ディーゼル
	14	高規格救急車	トヨタ	平成21年度	5 年	ガソリン
	15	指揮車	スズキ	平成24年度	2 年	ガソリン
養父消防署	1	化学消防ポンプ自動車	日野	平成22年度	4 年	ディーゼル
	2	消防ポンプ自動車 CD-I 型	三菱	平成15年度	11 年	ディーゼル
	3	救助工作車Ⅱ型	日野	平成18年度	8 年	ディーゼル
	4	高規格救急車	トヨタ	平成25年度	1 年	ガソリン
	5	高規格救急車	トヨタ	平成22年度	4 年	ガソリン
	6	指揮車	トヨタ	平成19年度	7 年	ガソリン
	7	広報車	トヨタ	平成21年度	5 年	ガソリン
	8	指令車	トヨタ	平成25年度	1 年	ガソリン
大屋出張所	9	消防ポンプ自動車 CD-I 型	トヨタ	平成23年度	3 年	ディーゼル
	10	高規格救急車	トヨタ	平成20年度	6 年	ガソリン
	11	指揮車	スズキ	平成25年度	1 年	ガソリン

沿 革

1 南但消防本部

年 月	記 事
平成25年 4月	南但消防本部発足(記念式典及び消防本部旗授与式挙行 4 / 1) 消防吏員 4 名を採用(条例定数98名) 県下広域を含めて各消防応援協定を締結(詳細は34頁に掲載)
5月	消防救急デジタル無線実施設計着手
7月	消防本部の広報紙「NANTAN119だより」創刊号を発行
8月	福知山花火大会火災に救急隊 2 隊応援出動
9月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(氷ノ山)
11月	管理者交替、秋の火災予防運動行事に一日消防官(朝来消防署)を実施 JR西日本和田山駅にて列車事故対応の集団救急救護訓練実施 指令車を更新し養父消防署に配備
12月	高規格救急自動車を更新し養父消防署に配備、指揮車を更新し大屋出張所に配備 年末年始特別警戒の行事に一日消防署長(養父消防署)を実施
平成26年 1月	南但消防本部として初めての出初式挙行
3月	JR播但線伯耆トンネル列車火災事故対応合同訓練実施 但馬地区救助技術研究会開催(朝来消防署)、大屋出張所耐震化工事着手 東日本大震災 3 周年を迎えて緊急消防援助隊参集訓練実施(消防本部) 朝来市及び養父市危険物安全協会解散総会開催
4月	消防吏員 7 名を採用(条例定数 9 8 名)
5月	南但危険物安全協会設立総会・記念式典
6月	消防救急デジタル無線工事着手 消防職団員参集メールシステム運用開始
8月	大屋出張所耐震化工事完了
11月	消防センター改修工事
12月	養父消防署耐震化工事完了
平成27年 1月	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練実施 高規格救急自動車を更新し朝来署に配備

2 旧朝来市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和51年 4月	朝来郡広域消防事務組合消防本部(署)を設置(新規採用18名を含む20名で消防業務開始) 神戸市消防局から救急車(1 B型)を借用
5月	救急車(デリカ)を配備(和田山ライオンズクラブから寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備、小型動力ポンプ付積載車(B2級ポンプ積載)を配備
10月	初任科研修を修了した消防士15名を配置し、消防業務全般を開始
12月	和田山町枚田436番地 1 に消防本部庁舎竣工、移転 救急車(2 B型)を配備(日本損害保険協会から寄贈)
昭和52年 1月	消防用無線電話開局
4月	消防吏員14名を採用
6月	県道山東・柏原線の遠坂トンネル開通に際し、氷上郡青垣町と応援協定を締結

昭和52年 9月	査察広報車を配備
10月	消防ポンプ自動車(BD-I型)を配備
11月	生野町口銀谷222番地1に消防署生野出張所庁舎竣工。消防吏員9名を配置、消防ポンプ自動車(BD-I型)及び救急車(デリカ)を配備し消防業務開始
昭和53年 1月	本署屋外訓練場に訓練塔を建設
4月	消防吏員9名を採用(条例定数43名)。消防専用電話119番を消防本部に集中、同時に農協有線一斉放送設備を使用し、火災発生報知業務を開始。朝来郡危険物安全協会発足
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を本署に配備
昭和54年 3月	生野出張所にサイレン一斉吹鳴装置を設置
昭和55年 2月	救急車(2B型)を本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
4月	中播消防事務組合と応援協定を締結
11月	広報誌「119だより」創刊号を発行
12月	救急指令装置C型を整備
昭和56年 4月	兵庫県救急医療情報システムを導入
8月	第10回全国消防救助技術大会に初出場
昭和57年 2月	養父郡広域事務組合と応援協定を締結
8月	第11回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
昭和58年 6月	兵庫県下消防職員意見発表会に出場し最優秀賞を獲得(4/22)、近畿地区代表として全国消防職員意見発表会に出場し入賞
8月	第12回全国消防救助技術大会に3年連続で出場。水上郡広域行政事務組合と応援協定を締結
12月	宍粟広域消防事務組合と応援協定を締結
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定を締結
3月	西脇市多可郡消防事務組合と応援協定を締結
8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)。福知山市と応援協定を締結
	第13回全国消防救助技術大会に4年連続出場
昭和60年 1月	播但地区消防職員意見発表会で最優秀賞を獲得
昭和61年 6月	河川情報システムを運用開始
8月	第15回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
昭和62年 8月	第16回全国消防救助技術大会に2年連続出場
9月	救急車(2B型)を更新し本署に配備(兵庫県共済農業共同組合連合会から寄贈)
昭和63年 2月	救助工作車(I型)を本署に配備
昭和63年 8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結
平成元年 2月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-A型)を整備し、出張所に配備
9月	査察広報車を更新
10月	水槽付消防ポンプ自動車(水I-B型)を更新し本署に配備(日本損害保険協会から寄贈)
平成 2年 3月	消防訓練塔(15m主訓練塔及び補助訓練塔)が完成
4月	緊急通報システム運用開始
8月	消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新し本署に配備
10月	第38回全国消防技術者会議で職員が研究発表
平成 3年 4月	救急救命士法成立
8月	救急車(2B型)を更新し出張所に配備(日本消防協会から寄贈)
9月	台風19号来襲、朝来郡内各地に被害
平成 4年 3月	兵庫県道路公社、姫路市、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定締結。兵庫県道路公社、中播消防事務組合と播但連絡有料道路における消防無線設備及び通信施設に関する協定締結
9月	生野町オフトーク放送運用開始
平成 5年 4月	朝来郡コミュニティ消防センター竣工。兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始

平成 6年 2月	消防緊急通信指令施設運用開始
4月	神戸市救急救命士養成所(前期)に職員 1 名を初めて派遣
11月	高圧ガス等の移譲事務取扱開始
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生(1/17、M7.3)、神戸市灘消防署に応援隊派遣(延べ12日間、32名、11台)
3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備
4月	救急救命士による救急業務開始。同日、高規格救急自動車運用開始
平成 8年 3月	はしご付消防自動車(15m級)を整備し本署に配備
6月	朝来郡広域消防事務組合を朝来郡広域行政事務組合に統合し、消防本部名を「あさご消防本部」に変更。消防本部発足20周年記念式典挙行
9月	朝来郡内の各町と朝来郡消防相互応援協定を締結
10月	兵庫県消防防災航空隊発足
平成 9年 1月	ロシア船籍「ナホトカ号」座礁に伴う流出油回収へ応援出動(～ 1 /25)
3月	朝来郡自主防災推進協議会発足式を挙行
6月	山東町防災行政無線システム開局
	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4 /15)。近畿地区代表として、京都市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
平成10年 4月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
平成11年 2月	兵庫県道路公社、氷上郡広域行政事務組合と遠阪トンネル有料道路における消防無線等に関する協定締結
8月	第28回全国消防救助技術大会に12年ぶりに出場
平成12年 5月	播但連絡道路開通(5 /27)に伴う消防合同訓練実施
8月	第29回全国消防救助技術大会に 2 年連続で出場
平成13年 7月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
9月	救助工作車をⅡ型に更新し本署に配備
平成14年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員 1 名を隊員派遣
4月	和田山町及び朝来町の C A T V 開局
12月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅰ－A型)を更新し、生野出張所に配備
平成15年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(水Ⅱ型)を整備し本署に配備
	消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)を更新し本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
平成16年 4月	兵庫県ドクターヘリ運用開始、兵庫県・神戸市消防防災ヘリコプター共同運航開始
平成16年 7月	福井豪雨災害に緊急消防援助隊を派遣
平成16年 8月	気管挿管認定救命士誕生。台風16号襲来、管内各地で被害発生
9月	消防本部庁舎耐震化工事完了
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大(管内救助人員66名)
	兵庫県下広域応援出動要請により、豊岡市に救助隊を派遣。兵庫県下広域消防相互応援隊及び緊急消防援助隊の基地本部に指定され、県下応援隊(100隊)及び緊急援助隊(大阪府他計139隊)対応を北但広域消防本部に代わり但馬代表代行消防本部として行う
	高規格救急自動車を更新し、出張所に配備
平成17年 3月	朝来郡広域行政事務組合の解散式、合併により朝来郡広域行政事務組合が解散する(31日)
4月	朝来市消防本部誕生、(朝来郡 4 町が合併し朝来市が誕生)
	尼崎市 J R 福知山線列車事故災害に兵庫県消防相互応援協定に基づき救急隊を派遣
11月	携帯電話からの119通報を直接受信開始
平成18年 3月	薬剤投与認定救命士誕生
7月	北近畿豊岡自動車道春日和田山間開通
平成18年 8月	第35回全国消防救助技術大会に 2 年ぶりに出場
12月	第 9 回全国消防広報コンクール広報紙の部で優秀賞受賞

平成19年 2月	高機能消防指令センター運用開始
6月	播但地区代表として近畿地区消防職員意見発表会に出場し、最優秀賞を獲得(4/24)。近畿地区代表として、名古屋市で開催の全国消防職員意見発表会に出場
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
9月	第1回但馬地域MC協議会開催
10月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
11月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(竹田城跡)
12月	第10回全国消防広報コンクール広報紙の部で入賞
平成20年 8月	第37回全国消防救助技術大会に3年連続で出場 自動体外式除細動器(AED)設置施設公表制度開始
平成21年10月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
12月	指揮支援車を本署に配備
平成22年 4月	ドクターヘリ運航開始
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(青倉山)
12月	ドクターカー運行開始
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計16名派遣)
8月	消防広域化協議会発足式開催
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(室尾城跡)
平成24年 6月	消防救急デジタル無線基本設計・電波伝搬調査実施
8月	第41回全国消防救助技術大会に3年ぶりに出場 養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
10月	兵庫県消防防災航空隊合同訓練実施(竹田城跡)、伯耆トンネル列車火災事故対応合同訓練実施
11月	北近畿豊岡自動車道路和田山八鹿道消防合同訓練、指揮支援車を更新し出張所に配備
平成25年 3月	朝来市消防本部を閉庁

3 旧養父市消防本部の沿革

年 月	記 事
昭和53年 4月	養父郡広域事務組合養父郡消防本部(署)を設置(新規採用19名を含む24名で消防業務開始)
5月	査察広報車を配備
8月	救急車(2B型)2台を配備(八鹿病院及び日本船舶振興会から寄贈)
9月	消防ポンプ自動車(BD-I型)及び指令車を配備
10月	初任科研修を修了した消防士18名を配置し、消防業務全般を開始
11月	化学消防自動車(II型)を配備
12月	八鹿町高柳173番地に消防本部庁舎竣工に伴い移転。消防専用電話119番・農協有線電話0119番を消防本部に集中化。農協有線一斉緊急放送設備の運用開始。消防用無線電話開局
昭和54年 4月	消防吏員7名を採用
6月	救急車(2B型)を配備(日産自動車から寄贈)
9月	小型動力ポンプ付積載車を配備(日本船舶振興会から寄贈)
12月	大屋町樽見549番地に消防署大屋出張所庁舎竣工。消防吏員8名を配置、小型動力ポンプ付積載車及び救急車(2B型)、広報車(大屋ライオンズクラブから寄贈)を配備し消防業務開始
昭和55年 3月	八鹿町高柳313-10番地に消防訓練場及び訓練塔を竣工。気象観測装置一式設置
昭和55年 4月	消防吏員5名を採用(条例定数35名)

昭和55年 6月	養父町建屋婦人防火クラブ結成
昭和56年 5月	救助工作車（Ⅰ型）を本署に配備
8月	消防本部書庫及び車庫増築
11月	関宮町立出合小学校少年消防クラブ結成
12月	養父郡幼少年婦人防火委員会設立
昭和57年 2月	朝来郡広域消防事務組合と応援協定締結
3月	養父町立養父小学校少年消防クラブ結成
4月	養父郡消防本部発足 5 周年記念式典挙行
6月	大屋町婦人防火クラブ結成
8月	消防訓練場に水防倉庫完成
昭和58年 7月	宍粟広域消防事務組合と応援協定締結
8月	美方郡広域消防事務組合と応援協定締結
9月	消防ポンプ自動車（BD－Ⅰ）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
昭和59年 2月	北但広域消防事務組合と応援協定締結
5月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	防火広報車を更新し本署に配備（日本防火協会から寄贈）
昭和60年10月	救急車（2 B型）を本署に配備（兵庫県農業共済連合会から寄贈）
昭和61年 1月	八鹿町立伊佐小学校少年消防クラブ結成
昭和62年 4月	公用車を本署に配備
12月	救助体制整備のためルーカスレスキューツールを配備
昭和63年 2月	広域消防応援体制充実のため消防用無線全国波を増設
4月	消防訓練場に夜間照明設備完成。養父郡消防本部発足10周年記念式典挙行
8月	県下消防本部と兵庫県広域消防相互応援協定を締結。本署に救急消毒室整備 林野火災特別地域指定に伴い林野火災用可搬式送水装置を配備
10月	消防ポンプ自動車（BD－Ⅰ）を更新し出張所に配備
昭和63年11月	指令車を更新し本署に配備
平成元年 8月	出張所に救急消毒室を整備
10月	救急車（2 B型）を出張所に配備（日本消防協会から寄贈）
平成 3年 2月	救助工作車（Ⅰ型）を更新し本署に配備
10月	緊急通報システム運用開始
平成 4年 1月	査察広報車を更新し本署に配備
11月	救急車（2 B型）を本署に配備（日本消防協会から寄贈）
12月	化学消防車（Ⅱ型）を更新し本署に配備
平成 5年 4月	兵庫県衛星通信ネットワーク竣工、運用開始
10月	消防ポンプ自動車（BD－Ⅰ）を本署に配備（日本損害保険協会から寄贈）
11月	救急車（2 B型）を本署に配備（養父郡農業協同組合から寄贈）
平成 6年 7月	査察広報車を更新し出張所に配備
11月	防火広報車更新
平成 7年 1月	兵庫県南部地震発生（1/17、M7.3）、神戸市灘消防署に応援隊派遣（延べ11日間、33名、11台）
10月	北九州市の救命士養成所に職員 1 名を初めて派遣
平成 8年 9月	兵庫県災害対応総合情報ネットワークシステム導入
平成 9年 3月	高規格救急自動車を整備し本署に配備（日本自動車工業会から寄贈）
7月	公用車を更新し本署に配備
平成10年 6月	養父郡消防本部発足20周年記念式典挙行、シンボルマーク及びマスコットキャラクター制定
12月	冬山搜索装備品整備
平成11年 6月	高規格救急自動車（4WD）を整備し出張所に配備
平成12年12月	緊急通報システムセンター装置更新

平成13年12月	緊急テロ対策関係資器材整備
平成14年10月	指令車を更新し出張所に配備
平成15年 3月	兵庫県消防防災航空隊へ消防吏員1名を隊員派遣
6月	災害対応特殊高規格救急自動車(4WD)を本署に配備
8月	第32回全国消防救助技術大会に初出場
12月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し出張所に配備
平成16年 3月	養父郡広域事務組合の解散式、合併により同組合が解散する(31日)
4月	養父市消防本部誕生(養父郡4町が合併し養父市が誕生)
8月	第33回全国消防救助技術大会に2年連続で出場
10月	台風23号来襲、但馬全域で被害甚大、県下広域応援出動要請により豊岡市に救助隊を派遣
平成17年 2月	北但消防本部とのBC災害対応消防合同訓練実施
4月	播但地区代表として兵庫県消防職員意見発表会に出場
8月	第34回全国消防救助技術大会に3年連続で出場
9月	救命ボート、水難救助器材、自家用発電機整備
11月	携帯電話からの119番通報を直接受信開始
平成19年 1月	救助工作車(Ⅱ型)を更新し本署に配備
8月	第36回全国消防救助技術大会に2年ぶりに出場
12月	八鹿ライオンズクラブから自動体外式除細動器(AED)を寄贈され署所に配備
平成20年 3月	査察広報車を更新し本署に配備(JAたじま・JA共済連兵庫から寄贈)
7月	八鹿ヘリポート少量危険物貯蔵施設整備
平成21年 2月	高規格救急自動車を更新し出張所に配備
9月	防火広報車を更新し本署に配備
11月	携帯・IP電話位置情報システム運用開始
平成22年 3月	高規格救急自動車を更新し本署に配備
4月	ドクターヘリ運航開始
12月	ドクターカー運行開始、化学消防ポンプ自動車を更新し本署に配備
平成23年 3月	東北地方太平洋沖地震発生(3/11、M9.0)
3月～ 4月	東日本大震災に緊急消防援助隊派遣(兵庫県隊、但馬ブロック隊として計14名派遣)
8月	養父市及び朝来市消防広域化協議会発足式開催
平成23年 9月	消防ポンプ自動車(CD-I)を更新し本署に配備
10月	ドクターカー・ドクターヘリとの併用運行開始
11月	特殊災害対応合同訓練実施
12月	鳥取県東部広域行政管理組合と応援協定を締結
平成24年 8月	養父市及び朝来市消防広域化調印式(8/22)
11月	北近畿豊岡自動車道路和田山八鹿道消防合同訓練実施
平成25年 3月	養父市消防本部を閉庁

平成 26 年度中の主要行事

月 日	内 容
4月 1日	山火事防止月間(4/1～4/30)
4月 2日	八鹿病院新人防火研修(於:八鹿病院)
4月 3日	兵庫県消防学校「初任科」7名入校(卒業式9/26)
4月 6日	養父市消防大会(於:養父市民会館)、朝来市消防大会(於:ジュピターホール)
4月 8日	養父市及び朝来市危険物安全協会会長会議(於:南但消防本部)
4月13日	養父市消防団新入団員訓練(於:養父消防署)
4月16日	養父市及び朝来市危険物安全協会理事会(於:南但消防本部)
4月20日	消防ふれあいまつり(於:エスタ)
4月22日	消防関係機関連絡会議
5月 7日	救助隊特別訓練(～7/25)
5月11日	朝来市操法大会事前研修会
5月15日	南但危険物安全協会設立総会・記念式典(於:ジュピターホール)
5月18日	全但消防協議会総会(於:城崎)
5月19日	養父市防火委員会(於:養父市情報センター)
5月21日	朝来市自主防災推進協議会役員会
5月24日	養父市婦人防火クラブ総会(於:養父公民館)
5月29日	防火管理者講習会(～5/30 於:南但消防本部)
6月 2日	養父市、朝来市トライやるウィーク(～6/6 於:養父消防署、朝来消防署)
6月 6日	篠山市消防本部救助合同訓練(於:南但消防本部)
6月 8日	危険物安全週間(～6/14)
6月 9日	消防大学校「幹部科」入校(～7/24)
6月10日	防災パトロール(養父市内)
6月16日	水難救助ボート取扱い訓練(6/16.17 於:山東町金浦調整池)
6月22日	朝来市消防団ポンプ操法大会(於:朝来市羽瀧チェンブース)、養父市礼式指導(大屋・関宮方面隊)
6月23日	朝来警察署合同水難救助訓練(於:円山川)
6月26日	養父消防署水難救助訓練(於:円山川)、防災パトロール(養父市内)
6月27日	養父市旅館等表示制度説明会(於:ハチ高原交流促進センター他) 朝来市自主防災推進協議会総会及び講演会(於:ジュピターホール)
7月22日	監督職研修(～7/24)
7月26日	第43回消防救助技術近畿地区指導会(於:兵庫県防災センター)
7月27日	養父市消防団関宮方面隊水防工法訓練、八鹿方面隊10.11.13分団訓練
7月28日	初任科所属研修(～8/1)
8月 9日	大屋出張所耐震化工事完了
8月20日	氷ノ山救急救助搬送訓練(於:氷ノ山)
8月30日	防災週間(～9/5)
8月31日	朝来市一斉避難訓練及び集団災害対応訓練(於:朝来市高齢者活力創造センター) 兵庫県防災総合訓練(於:芦屋市)

月 日	内 容
9月 7日	養父市一斉避難訓練(於:八鹿町宿南川東区、養父市畑区)
9月25日	防火ポスター審査会(於:南但消防本部)
10月 1日	救助訓練強化月間(～10/31、10/29.30朝来署査閲、11/12養父署査閲) 兵庫県消防学校「救助科」入校(～10/30)
10月 5日	朝来市消防団幹部、女性消防団員、新人団員研修会(於:山東町緑風ホール、南但消防本部)
10月19日	ひょうご消防のつどい(於:加古川市)、豊岡病院災害訓練(於:公立豊岡病院)
10月21日	和田山高等学校就業体験(～10/23)
10月30日	西胆振消防組合議会議員視察研修、播但連絡道路消防訓練
11月 1日	緊急消防援助隊中国ブロック合同訓練(～11/2 於:岡山市) 救急訓練強化月間(～11/30、11/9救急総合訓練 於:朝来署)
11月 4日	消防センター改修工事(～11/28)
11月 6日	JR列車事故対応合同訓練(於:JR和田山駅)
11月 7日	朝来消防署 1 日消防官
11月 9日	秋季全国火災予防運動(11/9～11/15)、和田山支団夜間緊急訓練(於:久田和) 朝来市消防団山東支団緊急訓練(於:ハピネス)、養父市消防団合同訓練(於:伊佐)
11月10日	兵庫県消防学校「警防科」入校(～11/21)、「中級幹部科」入校(～11/18)
11月11日	宮崎県東児湯消防組合視察研修
11月13日	旅館ホテル防火研修会(朝来市、於:南但消防本部)
11月17日	防災航空隊合同山岳救助訓練(於:氷ノ山)
11月19日	防火訪問(～11/26 於:養父市内)
11月20日	兵庫県危険物安全協会会長研修会(～11/21 於:新温泉町)
11月23日	Yタウン消防ふれあいまつり(於:養父市Yタウン)
11月26日	兵庫県消防学校「特殊災害科」入校(～12/9)
12月 1日	消防訓練強化期間(12/1～12/15)、兵庫県消防学校「危険物科」入校(～12/5)
12月15日	年末年始特別警戒(前期12/15～12/24 後期12/25～1/3)
12月16日	養父消防署耐震化工事完了
1月 6日	兵庫県消防学校「火災調査科」入校(～1/20)
1月 8日	平成27年消防出初式(於:南但消防本部)
1月15日	阪神淡路大震災20年メモリアル訓練(於:南但消防本部)
1月22日	兵庫県消防学校「救急科」入校(～3/17)
1月23日	播但地区消防職員意見発表会(於:姫路市)
1月24日	朝来消防署高規格救急自動車運用開始(あさご6)
2月18日	消防職員駅伝大会(於:大阪市)
3月 1日	春季全国火災予防運動(～3/7)、朝来市消防団朝来支団合同消防訓練(於:中川小学校)
3月 5日	列車火災事故対処合同訓練(於:JR播但線伯耆トンネル)
3月 6日	山岳遭難合同訓練(於:氷ノ山国際スキー場)
3月12日	病院福祉施設防火研修会(朝来市、於:南但消防本部)
3月15日	林野火災対応朝来市消防団生野支団合同訓練(於:生野中学校)

～おもな出来事～



南但消防本部辞令交付式

(4月1日 消防本部)

4月から新しく7名の職員を採用し、消防長から辞令交付が行われました。1日でも早く住民から信頼される消防士になることを誓いました。



消防ふれあい祭り

(4月20日 イオン和田山ショッピングセンター)

(11月23日 養父市Yタウン)

今年は養父市内でも消防ふれあい祭りを開催し、大変多くの方に来場して頂きました。



南但危険物安全協会発足

(5月15日 和田山ジュピターホール)

養父・朝来両市の危険物安全協会が合併し、「南但危険物安全協会」が発足しました。設立記念総会及び記念式典が開催され、80名を超える出席がありました。



トライやるウィーク

(6月2日～6月6日 消防本部)

和田山、生野、八鹿青溪、大屋中学の2年生12名が参加し、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの訓練にトライしました。



第43回消防救助技術近畿地区指導会

(7月26日)

兵庫県と大阪府内の各消防本部から、消防本部の代表として選考された救助隊員が全国大会出場を目指し、日頃の訓練の成果を披露しました。



耐震改修工事完了

(8月19日 大屋出張所)

(12月16日 養父消防署)

養父消防署及び大屋出張所において耐震化に伴う改修工事を行いそれぞれ完了しました。耐震化により防災活動拠点としての機能が充実しました。

～おもな出来事～



朝来市・養父市一斉避難訓練

(8月31日 朝来市 9月7日 養父市)

朝来市では初めての一斉避難訓練が行われました。両市ともに訓練を通じ、地域一体となって防災活動をする事の重要性を改めて実感した一日となりました。



JR列車事故対応合同訓練

(11月6日 JR和田山駅)

消防本部、朝来市消防団、JR西日本、朝来警察署、八鹿病院(DMAT)、和田山医療センターとの連携強化の為、列車事故を想定した合同の訓練を実施しました。



一日消防官 (11月7日 消防本部)

女性消防団員4名が消防長から辞令交付を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、園児たちに防火クイズを出題して、家庭内の火災予防を呼びかけました。



兵庫県消防防災航空隊との合同山岳救助訓練

(11月17日 氷ノ山地蔵堂付近)

氷ノ山地蔵堂付近で登山者が転倒し歩行不可能という想定で訓練を実施しました。要救助者をロープで対岸へ救出した後、地蔵堂まで搬送し防災ヘリに収容しました。



消防出初式 (1月8日 消防本部)

南但消防本部が発足し、2度目の「出初式」を実施しました。当日は寒波が襲来した厳しい天候でしたが、普段の訓練成果を十分発揮し、力強い訓練披露ができました。



【阪神・淡路大震災から20年】メモリアル消防訓練

(1月15日 消防本部)

阪神・淡路大震災から20年。震災から得た経験と教訓を活かすため、朝来警察署、朝来市消防団、八鹿病院(DMAT)等と合同で訓練を実施し、連携を強化しました。

一 目 統 計

構成市町	面 積	人 口	世 帯 数
2 市	825.76km ²	57,504人	21,967世帯
養父市 朝来市	養父市 422.78km ² 朝来市 402.98km ²	養父市 25,373人 朝来市 32,131人	養父市 9,658世帯 朝来市 12,309世帯

予 算	組 織	職 員 数	消防団員数
1,320,047千円	消防本部 1 消 防 署 2 出張所 2	96名	2,312名 養父市 1,286名 朝来市 1,026名

防火対象物	危険物施設	防 火 団 体	
3,186棟 養父市 1,499棟 朝来市 1,687棟	342施設 養父市 179施設 朝来市 163施設	朝来市自主防災 推進協議会 424会員 地 域 会 員 159会員 事業所会員 259会員 賛 助 会 員 6会員	養父市幼少年婦人 防火委員会 553名 婦人防火クラブ 100名 幼年消防クラブ 360名 少年消防クラブ 93名

火 災	救 急	救 助	そ の 他
32件 【出火原因】 ①焼却火 ②不 明 ③列車ブレーキの火花	出動件数 3,006件 搬送人員 2,733名 【事故種別】 ①急 病 ②一般負傷 ③交通事故	出動件数 62件 救助人員 38名 【事故種別】 ①交通事故 ②水難事故 ②機械による事故 ③火災	出動件数 847件 【種別】 ①ヘリ支援 619件 ②救急支援 164件 ③そ の 他 64件

通 信	タンク・ポンプ車	特殊車両	救 急 車
119番総受信回数 3,596回 緊急通報受信回数 2,662回	タンク車 2台 ポンプ車 3台	はしご車 1台 救助工作車 2台 化 学 車 1台	高規格救急車 6台

概 要 編

凡例

統計表中の符合等の用法は、次のとおりです。

「0」……………該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「△」……………負数

「(空白)」…該当なし

管 理

1 平成26年度消防行政の推進

広域化後2年目を迎えた平成26年度は、広域化のメリットをさらに活かすため消防力を効率的かつ効果的に運用することにより各署所間の連携を高め消防体制の充実をはかりました。さらには養父消防署及び大屋出張所の耐震化工事を完了し、「安全で安心な地域づくり」を目指し、防災活動拠点としての機能の充実を図りました。

また、大量退職期を向かえ人財育成・技術伝承など職員個々の能力をさらに向上させるため、消防学校を始めとした各研修機関へ27名の職員を派遣するとともに、職場内での研修を積極的に行い職員の能力開発に努めました。

また、幹部職員を養成するため消防大学校へ1名を派遣しました。

なお、消防本部が定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

- (1) 自主防災と防火管理体制の強化
- (2) 住宅防火及び災害弱者対策の推進
- (3) 消防活動の高度化
- (4) 消防団との連携及び広域消防相互応援体制の整備
- (5) 活力ある職場づくり



2 平成25年度当初予算

平成26年度当初予算の総額は1,320,047千円で、このうち人件費が807,157千円で歳出予算総額の61.1%を占めています。



消防施設整備事業費は32.6%の430,233千円で、前年と比較すると243,809千円の増となっています。これは平成28年度運用開始予定の消防救急デジタル無線整備工事に着手したことが主な要因で、このほかに高規格救急自動車の更新や消防職団員メール招集システムの整備などを行いました。

予 防

1 防火対象物の状況

平成26年度末の防火対象物は総数3,186棟で、市別では養父市1,499棟、朝来市1,687棟となっています。用途別では「その他の事業所」が最も多く約22%を占めており、続いて「工場等」、「共同住宅等」となっています。

また、これら多くの人が利用する様々な防火対象物に立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理を検査する予防査察件数は776件(棟数)で、査察後は対象物の関係者に対し防火安全上の不備欠陥事項について改修等を指導しています。

2 危険物施設の状況

平成26年度末の危険物施設数は342施設で、市別では養父市179施設、朝来市163施設となっています。施設区分別では「地下タンク貯蔵所」が最も多く約33%を占めており、続いて「一般取扱所」、「給油取扱所」となっています。

また、危険物施設の保安状況を検査する立入検査件数は233件(施設数)で、全施設の68%に立ち入り、危険物施設の技術上の基準に適合するよう指導しています。

3 自主防災組織の育成

管内それぞれの地域の自主防災体制を強化するため、両市内で地域に根ざした独自の自主防災組織の育成に協力しています。



養父市内には保育園児と小学生及び地域の女性からなる「幼年・少年・婦人防火クラブ」が設立されており、防火研修や救急講習会など多彩な行事を通じて防災思想の普及啓蒙を重点に活動しています。

(左) 婦人防火クラブ員救急講習会のようす(養父市)

(下) 朝来市自主防災推進協議会での防災講演会のようす(朝来市)

また、朝来市内には事業所等と市内全地区を会員とした「朝来市自主防災推進協議会」が設立されており、防災講演会や春・秋の火災予防運動への援助活動を通じて地域ぐるみで自主防災に取り組んでいます。



火 災

平成26年中の出火件数は32件で、前年(36件)と比較すると4件の減少となっています。

火災種別ごとにみると、建物火災が14件、車両火災が2件、林野火災が1件、その他の火災が15件となっています。

地域別の発生状況をみると、朝来市内の出火件数は19件で、その内訳は、建物火災が10件、林野火災が1件、その他の火災が8件となっています。

養父市内の出火件数は13件で、その内訳は、建物火災が4件、車両火災が2件、その他の火災が7件となっています。

火災の損害は59,814千円で、前年と比較すると21,061千円増額しています。

死傷者をみると、建物火災で死者が1名、負傷者が5名発生しています。



火災の状況

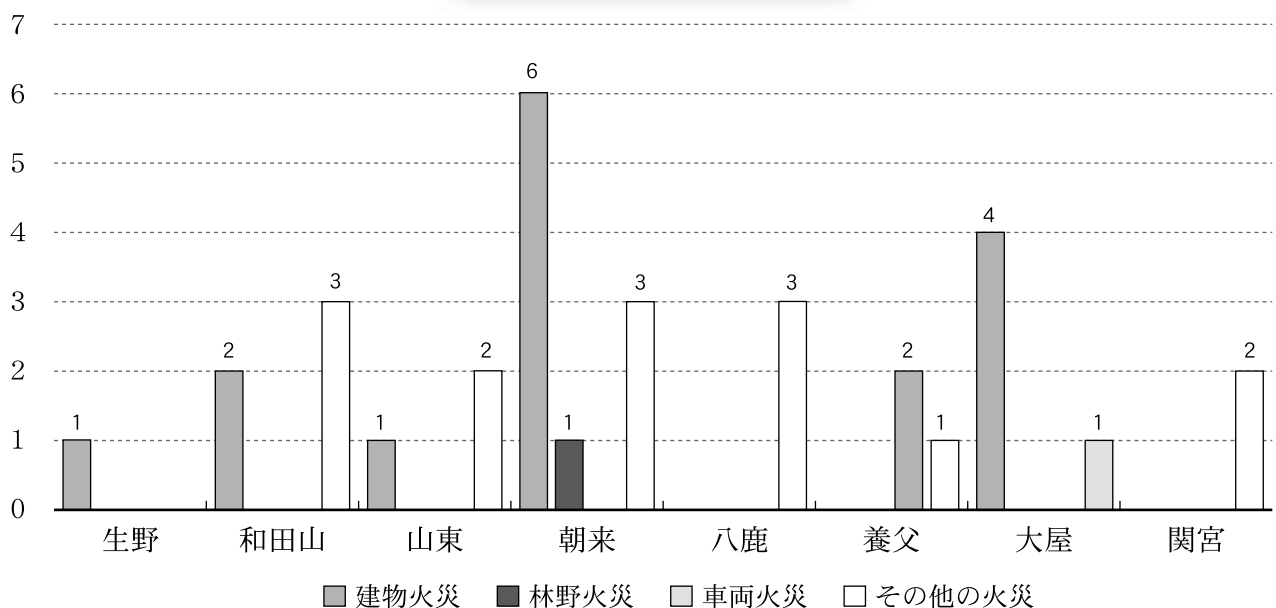
区 分		平 成 2 6 年	平 成 2 5 年	比 較 増 減
出 火 件 数	総 数	32	36	△ 4
	建 物 火 災	14	11	3
	林 野 火 災	1	5	△ 4
	車 両 火 災	2	4	△ 2
	そ の 他 の 火 災	15	16	△ 1
焼 損 棟 数	総 数	23	14	9
	全 焼	12	6	6
	半 焼	1	2	△ 1
	部 分 焼	5	2	3
	ば や	5	4	1
焼 損 面 積	建 物 (m ²)	1,466	967	499
	林 野 (a)	34	33	1
損 害 額 (千円)	総 数	59,814	38,753	21,061
	建 物	57,530	37,025	20,505
	林 野	453	586	△133
	車 両	1,048	463	585
	そ の 他	783	679	104
り 災 世 帯 数		9	4	5
り 災 人 員		20	7	13
死 者		1		1
負 傷 者		5	4	1

地域別の状況

区 分		総 数	朝 来 市					養 父 市				
			計	生 野	和田山	山 東	朝 来	計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮
出 火 件 数	総 数	32	19	1	5	3	10	13	3	3	5	2
	建 物 火 災	14	10	1	2	1	6	4			4	
	林 野 火 災	1	1				1					
	車 両 火 災	2						2		2		
	その他の火災	15	8		3	2	3	7	3	1	1	2
焼 損 棟 数	総 数	23	11	1	2	1	7	12			12	
	全 焼	12	3				3	9			9	
	半 焼	1	1				1					
	部 分 焼	5	5		2	1	2					
	ぼ や	5	2	1			1	3			3	
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	1,466	423	0	10	36	377	1,043			1,043	
	林 野 (a)	34	34				34					
損 害 額 (千 円)		59,814	12,445	13	119	4,219	8,094	47,369	0	859	46,508	2
り 災 世 帯 数		9	6	1	1	1	3	3			3	
り 災 人 員		20	12	2	1	2	7	8			8	
死 者		1	1				1					
負 傷 者		5	2				2	3			3	

地域別出火件数

(件)



救 急

平成26年の救急件数は3,006件、搬送人員は2,733人で、前年(2,929件、2,661人)と比較すると、件数で77件の増加、人員で72人の増加となっています。

事故種別ごとにみると、急病が1,763件で最も多く、次いで一般負傷506件、交通事故280件、転院搬送261件と続いています。

朝来市内の救急件数は1,544件、養父市内の救急件数は1,457件、管外が5件となっています。

地域別の救急件数は、朝来市内は、生野202件、和田山838件、山東228件、朝来276件となっており、養父市内は、八鹿600件、養父355件、大屋266件、関宮236件となっています。



救急の状況

区 分	平成26年		平成25年		比較増減
	件 数	比 率(%)	件 数	比 率(%)	
総 数	3,006	100	2,929	100	77
火 災	4	0.2	4	0.1	
自 然 災 害			1	0.1	△ 1
水 難	2	0.1			2
交 通 事 故	280	9.3	293	10.0	△13
労 働 災 害	34	1.1	26	0.9	8
運 動 競 技	16	0.5	24	0.9	△ 8
一 般 負 傷	506	16.8	426	14.5	80
加 害	7	0.2	7	0.2	
自 損 行 為	19	0.6	21	0.7	△ 2
急 病	1,763	58.7	1,704	58.1	59
転 院 搬 送	261	8.7	319	10.9	△58
そ の 他	114	3.8	104	3.6	10

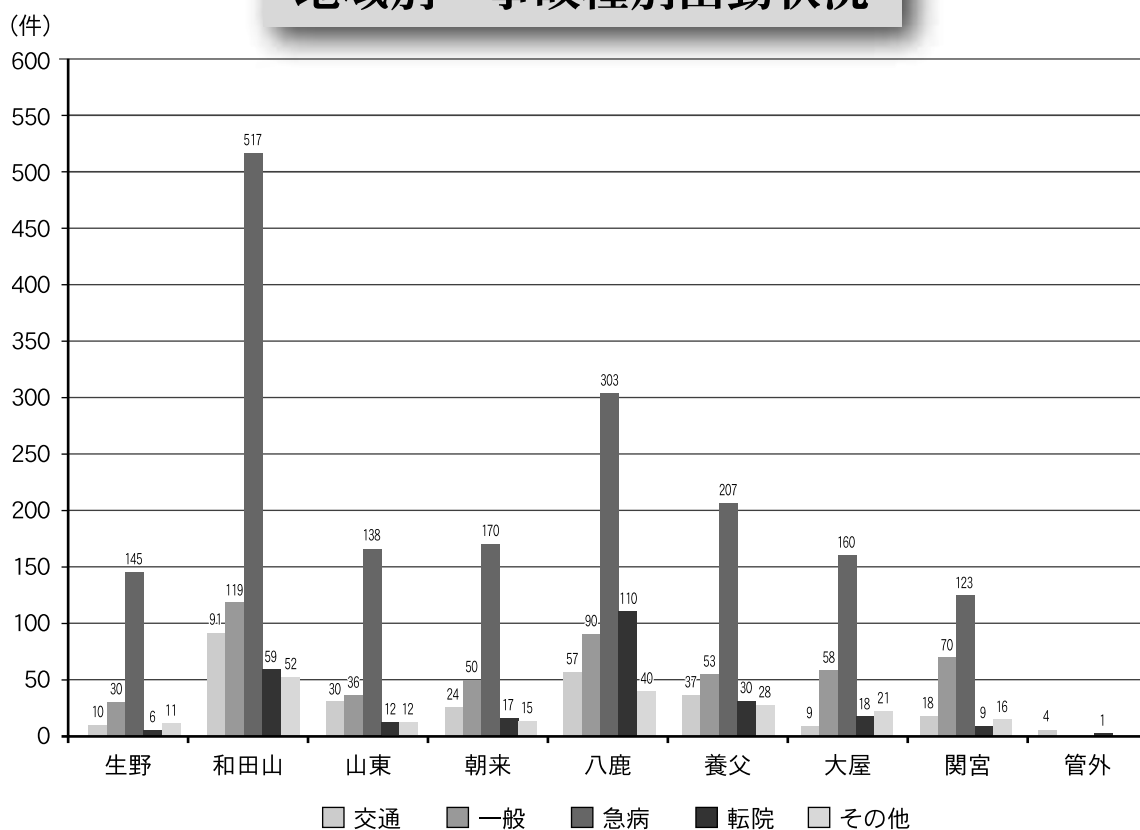
※その他とは、上記以外のもの(例)医師搬送など。

地域別の状況

(単位:件)

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		計	生野	和田山	山東	朝来	計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	3,006	1,544	202	838	228	276	1,457	600	355	266	236	5
火 災	4	1				1	3			3		
自 然 災 害												
水 難 事 故	2	2	1		1							
交 通 事 故	280	155	10	91	30	24	121	57	37	9	18	4
労 働 災 害	34	19	2	12	4	1	15	4	4	5	2	
運 動 競 技	16	11	3	4	1	3	5	2		1	2	
一 般 負 傷	506	235	30	119	36	50	271	90	53	58	70	
加 害	7	4		4			3	1		1	1	
自 損	19	11	3	5	3		8	2	2	4		
急 病	1,763	970	145	517	138	170	793	303	207	160	123	
転 院 搬 送	261	94	6	59	12	17	167	110	30	18	9	
そ の 他	114	42	2	27	3	10	71	31	22	7	11	1

地域別・事故種別出動状況



救 助

平成26年中の救助出動件数は62件で、前年(75件)と比較すると13件の減少となっています。

事故種別でみると、交通事故が42件、水難事故、機械による事故が各2件、火災が1件、その他(山岳、高所からの転落等)の事故が15件となっています。

地域別の出動状況を見ると、朝来市内は生野3件、和田山9件、山東4件、朝来6件、養父市内は八鹿が9件、養父13件、大屋6件、関宮11件となっており、管外が1件となっています。

救助隊が救助活動を行った件数は35件で、38人を救助しました。



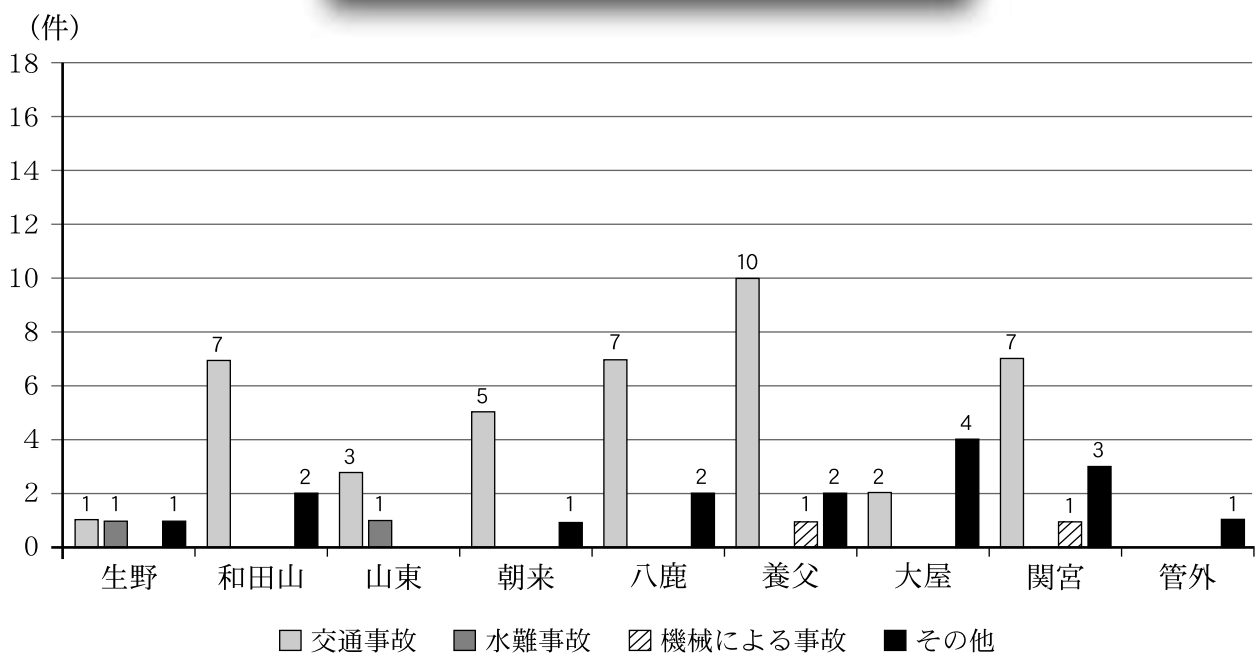
救助の状況

区 分	平成26年	平成25年	比較増減
	件数	件数	
総 数	62	75	△13
火 災	1		1
交 通 事 故	42	47	△5
水 難 事 故	2	2	
自 然 災 害		1	△1
機 械 に よ る 事 故	2	1	1
建 物 等 に よ る 事 故		1	△1
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故			
破 裂 事 故			
そ の 他 の 事 故	15	23	△8

地域別の状況

区 分	総数	朝 来 市					養 父 市					管外
		小計	生野	和田山	山東	朝来	小計	八鹿	養父	大屋	関宮	
総 数	62	22	3	9	4	6	39	9	13	6	11	1
火 災	1						1			1		
交 通 事 故	42	16	1	7	3	5	26	7	10	2	7	
水 難 事 故	2	2	1		1							
自 然 災 害												
機械による事故	2						2		1		1	
建物等による事故												
ガス及び酸欠事故												
破 裂 事 故												
その他の事故	15	4	1	2		1	10	2	2	3	3	1
救助活動件数	35	12		6	2	4	23	8	6	4	5	
救 助 人 員	38	13		6	3	4	25	8	7	5	5	

地域別・事故種別出動状況



通 信

平成26年中の119番受信件数は3,596件で、その内訳は緊急通報が2,662件、緊急外通報が934件となっています。

前年と比較すると、緊急通報が69件増加し、緊急外通報が327件減少しています。

また、携帯電話からの119番通報は934件で、前年と比較すると80件の減少となっています。



通信の状況

		平成 25 年	うち、 携帯電話	平成 26 年	うち、 携帯電話	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
	総 数	3,854	1,014	3,596	934	301	284	294	290	302	261	345	306	287	305	324	297
緊急 通報	火災通報	25	17	23	11	4		4	8	2		2		1	2		
	救急通報	2,329	553	2,397	574	218	205	191	170	222	175	240	223	184	193	179	197
	病院照会	110	56	85	35	11	6	10	13	4	2	5	11	8	4	4	7
	台風関連 第2報等	106	62	130	62	9	13	7	12	5	7	16	7	18	19	9	8
	ガス漏検索 誤報等	23	7	27	12	2	2	1	2	1	1	5	5	4	3	1	
	計	2,593	695	2,662	694	244	226	213	205	234	185	268	246	215	221	193	212
緊急 外通報	通報訓練	446	18	347	18	8	32	28	17	27	30	23	20	18	35	63	46
	間 違 い	147	78	136	69	14	8	14	19	10	10	13	10	8	9	13	8
	いたずら	25	12	10	4		1	1	1			1	2	2	2		
	問 合 せ	83	41	52	14	7	2	1	4	2	6	8	4	6	1	7	4
	そ の 他	560	170	389	135	28	15	37	44	29	30	32	24	38	37	48	27
	計	1,261	319	934	240	57	58	81	85	68	76	77	60	72	84	131	85

統計資料編

管 理 編

管
理
編

平成 26 年度予算状況

(単位:千円)

性質別等		当初予算額	補正予算額 (流用等含む)	現計予算額	比 率 (%)
歳入	総 計	1,320,047	△86,325	1,233,722	100.0
	分担金・負担金	939,005	△15,525	931,480	75.5
	使用料・手数料	800		800	0.1
	国 県 支 出 金				
	繰 入 金				
	繰 越 金				
	地 方 債	370,800	△70,800	300,000	24.3
	諸 収 入	1,442		1,442	0.1
歳出	総 計	1,320,047	△86,325	1,233,722	100.0
	人 件 費	807,157	△10,135	797,022	64.6
	物 件 費	69,943	△1,934	68,009	5.5
	建 設 事 業 費	430,233	△74,080	356,153	28.9
	維 持 補 修 費	4,060	463	4,523	0.4
	補 助 費 等	8,654	△639	8,015	0.6
	公 債 費				

平成 25 年度職員給与費の実態

職員給与

(単位:千円)

職員数 (A)	平成25年度給与費				一人当たりの給与費 (B)/(A)
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
96	357,638	114,251	131,682	603,571	6,287

初任給の状況(高校卒)

	消防職	一般行政職	国
初任給	1 級 8 号給	1 級 5 号給	1 級 5 号棒
金 額	145,400円	142,100円	142,100円

階級別勤続年数

(H27.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
総数	96	1	25	39	12	6	13
1年未満	7						7
1年～5年	11				2	3	6
6年～10年	10			2	5	3	
11年～15年	9			7	2		
16年～20年	12			12			
21年～25年	11			11			
26年～30年	6			6			
31年～35年	13		11	1	1		
36年以上	17	1	14		2		

年齢別職員構成

(H27.3.31現在)

階級 勤続年数	総数	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
総数	96	1	25	39	12	6	13
20歳以下	2						2
21歳～25歳	15					4	11
26歳～30歳	9				7	2	
31歳～35歳	8			6	2		
36歳～40歳	12			12			
41歳～45歳	12			12			
46歳～50歳	6			6			
51歳～55歳	13		8	3	2		
56歳以上	19	1	17		1		

研修派遣状況

(単位:人)

研修科目 \ 階 級	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	27		3	8	3	2	11
《 消 防 大 学 校 》	1			1			
幹 部 科	1			1			
《 兵 庫 県 消 防 学 校 》	24		2	6	3	2	11
初 任 教 育	6						6
警 防 科	1			1			
特 殊 災 害 科	1			1			
危 険 物 科	1			1			
火 災 調 査 科	1			1			
救 急 科	5						5
救 助 科	1					1	
中 級 幹 部 科	1		1				
救 急 救 命 士 養 成 課 程	1					1	
救 急 救 命 士 追 加 講 習 (ビデオ喉頭鏡追加講習)	4			2	2		
惨 事 ス ト レ ス 研 修	1		1				
山 岳 用 救 助 器 具 取 扱 技 術 研 修	1				1		
《 兵 庫 県 自 治 研 修 所 》	2		1	1			
管 理 職 研 修	1		1				
監 督 職 研 修	1			1			

階級別資格取得状況

(H27.3.31現在)

階 級 資 格		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運 転 免 許	大 型	68		14	32	11	6	5
	普 通	96	1	25	39	12	6	13
危 険 物 取 扱 者 (甲 種)		2		1		1		
危 険 物 取 扱 者 (乙 種)		78	1	21	34	12	4	6
危 険 物 取 扱 者 (丙 種)		18		3	12	2	1	
消 防 設 備 士 (甲 種)		2		2				
消 防 設 備 士 (乙 種)		16		5	10	1		
特 殊 無 線 乙		96	1	25	39	12	6	13
救 急 救 命 士 資 格		39		10	20	7		2
気 管 挿 管 認 定		25		3	16	6		
薬 剤 投 与 認 定		27		3	17	7		
救 急 隊 員 資 格 (Ⅱ 課 程)		61		25	33	3		
救 急 隊 員 資 格 (標 準 課 程)		35	1		6	9	6	13
応 急 手 当 指 導 員		96	1	25	39	12	6	13
救 助 隊 員 資 格 (1 号)		42		4	24	8	4	2
小 型 船 舶 操 縦 士		13		1	10		1	1
玉 掛 技 能 者		22	1	3	9	4	4	1
移 動 式 ク レ ー ン		21	1	3	8	4	3	2
衛 生 管 理 者		3		3				
安 全 衛 生 推 進 者		4		4				
予 防 技 術 資 格 者		14		6	5	3		

平成 25 年度一般会計決算の概要

(歳入)

(単位:千円)

科 目	予算額(A)	収入済額(B)	比較(B - A)
歳 入 合 計	1,067,269	940,131	△127,138
一 般 財 源	1,046,072	925,163	△120,909
使 用 料 ・ 手 数 料	983	968	△15
国 庫 支 出 金	10,582	12,158	1,576
負 担 金	1,632	1,842	210
組 合 歳	8,000		△8,000

(歳出)

科 目	予算額(A)	支払済額(B)	比較(A - B)
歳 出 合 計	1,067,269	918,527	148,742
常 備 消 防 費	880,845	852,406	28,439
消 防 施 設 費	186,424	66,121	120,303

歳入歳出差引額 21,604千円

実 質 収 支 額 21,604千円

消防相互応援協定等の締結状況

(平成27年 3 月31日現在)

締 結 年 月 日	内 容
平成 2 5 年 4 月 1 日	豊岡市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	美方郡広域事務組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	姫路市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	丹波市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	西はりま消防組合と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	鳥取県東部広域行政管理組合消防局と消防相互応援に関する協定(新規)
平成 2 5 年 4 月 1 日	福知山市と消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定(改定)
平成 2 5 年 4 月 1 日	国土交通省豊岡河川国道事務所、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援に関する協定書(改定)
平成 2 5 年10月23日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定(改定)
平成 2 7 年 2 月15日	南但消防本部と朝来市消防団との消防活動に関する覚書(改定)
平成 2 7 年 2 月15日	養父市及び南但消防本部並びに養父市消防団との現場活動等に関する覚書(新規)

予 防 編

防火対象物の概要（地域別・中高層建物）

（H27.3.31現在）

用 途 別		防 火 対 象 物									3 階 以 上 対 象 物								
		総数	朝 来 市				養 父 市				総数	朝 来 市				養 父 市			
			生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮		生野	和田山	山東	朝来	八鹿	養父	大屋	関宮
総 数		3,186	235	943	279	230	641	342	232	284	411	31	123	27	13	114	27	8	68
1	イ 映 画 館 等	2	1	1							2	1	1						
	ロ 集 会 場 等	190	10	37	22	20	32	20	21	28	7		4		1	1	1		
2	イ キャバレー等	1		1															
	ロ 遊 技 場 等	5		3			2												
	ニ カラオケボックス等	1		1															
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	80	2	28	8	2	13	17	4	6	5		1	1		3			
4	店 舗 等	159	9	77	13	13	19	20	1	7	7		5			2			
5	イ 旅館・ホテル等	156	8	10	13	8	11	6	7	93	59		8	2		1	2	2	44
	ロ 共 同 住 宅 等	337	31	148	32	19	55	36	6	10	87	9	27	10	1	27	8		5
6	イ 病 院 等	45	3	17	2	5	12	5		1	8		2		4	2			
	ロ グループホーム等	35	3	6	5	4	4	3	8	2	4		1		1	1			1
	ハ デイサービス・保育所	93	8	23	10	13	16	10	9	4	2				1		1		
	ニ 幼 稚 園 等	17		10	2	1	3	1			2		2						
7	学 校 等	114	23	21	7	6	42	7	4	4	39	7	11	2	1	11	2	2	3
8	図 書 館 等	17	6	3	1	2		1	4		1		1						
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	5		1	1		1		1	1									
10	車両の停車場	4	1	1			1	1			1		1						
11	神社・寺院等	93	11	9	3	1	20	24	11	14	1	1							
12	イ 工 場 等	514	42	168	51	46	101	54	30	22	23	7	3	1	1	5	3		3
	ロ 映画スタジオ等	3					1	1		1									
13	イ 駐 車 場 等	44	1	12	4	7	10	3	2	5									
14	倉 庫	280	25	98	28	20	60	22	15	12	10	1	2	2		5			
15	その他の事業所	696	39	170	57	48	155	78	95	54	71	3	25	5	1	19	8	4	6
16	イ 複合用途(特定)	165	3	56	7	7	50	19	10	13	49	1	18	2	1	22	1		4
	ロ 複合用途(非特定)	108	6	41	7	4	26	14	4	6	32	1	11	2	1	14	1		2
17	文化財建造物	22	3	1	6	3	7	1		1	1					1			

防火対象物の概要（査察件数・防火管理者・消防計画）

（H27.3.31現在）

※選任率、届出率は四捨五入での数字です。

用 途 別		査 察 件 数			防 火 管 理 者 ・ 消 防 計 画														
					対 象 数			選 任 数			選 任 率 (%)			計 画 届 出 数			届 出 率 (%)		
		総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市	総数	朝来市	養父市
総 数		776	434	342	845	393	452	746	356	390	88	91	86	702	344	358	83	88	79
1	イ 映 画 館 等	2	2		2	2		2	2		100	100		2	2		100	100	
	ロ 集 会 場 等	38	18	20	176	81	95	115	52	63	65	64	66	106	49	57	60	60	60
2	イ キャバレー等				1	1		1	1		100	100							
	ロ 遊 技 場 等	3	2	1	4	2	2	4	2	2	100	100	100	4	2	2	100	100	100
	ニ カラオケボックス等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
3	イ 料 理 店 等																		
	ロ 飲 食 店 等	18	12	6	63	27	36	55	24	31	87	89	86	48	22	26	76	81	72
4	店 舗 等	72	60	12	94	61	33	86	59	27	91	97	82	83	57	26	88	93	79
5	イ 旅館・ホテル等	146	45	101	116	20	96	116	20	96	100	100	100	115	19	96	99	95	100
	ロ 共 同 住 宅 等	7	1	6	17	11	6	16	11	5	94	100	83	16	11	5	94	100	83
6	イ 病 院 等	25	11	14	15	11	4	15	11	4	100	100	100	15	11	4	100	100	100
	ロ グループホーム等	42	24	18	22	12	10	22	12	10	100	100	100	22	12	10	100	100	100
	ハ デイサービス・保育所	86	56	30	60	30	30	57	30	27	95	100	90	57	30	27	95	100	90
	ニ 幼 稚 園 等	7	6	1	4	1	3	4	1	3	100	100	100	4	1	3	100	100	100
7	学 校 等	7	5	2	37	20	17	36	20	16	97	100	94	36	20	16	97	100	94
8	図 書 館 等	1		1	11	8	3	10	8	2	91	100	67	10	8	2	91	100	67
9	イ サウナ風呂等																		
	ロ 公 衆 浴 場 等	4	1	3	5	2	3	5	2	3	100	100	100	5	2	3	100	100	100
10	車両の停車場																		
11	神 社 ・ 寺 院 等	16	11	5	5	1	4	4	1	3	80	100	75	4	1	3	80	100	75
12	イ 工 場 等	33	16	17	34	24	10	33	23	10	97	96	100	30	23	7	88	96	70
	ロ 映画スタジオ等				1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
13	イ 駐 車 場 等	8	5	3															
14	倉 庫	7	5	2	1	1		1	1		100	100		1	1		100	100	
15	その他の事業所	172	127	45	85	40	45	78	38	40	92	95	89	73	37	36	86	93	80
16	イ 複合用途(特定)	76	23	53	82	32	50	75	32	43	91	100	86	63	31	32	77	97	64
	ロ 複合用途(非特定)	2		2	7	4	3	7	4	3	100	100	100	5	3	2	71	75	67
17	文化財建造物	4	4		2		2	2		2	100		100	1		1	50		50

確認申請処理状況

(H27.3.31現在)

種 別	総数	朝来市	養父市	同意	朝来市	養父市	指導による同意	朝来市	養父市	不同意	朝来市	養父市
総 数	64	41	23	33	21	12	31	20	11			
《工 事 別》												
新 築	48	32	16	31	20	11	17	12	5			
増 築	11	6	5	1	1		10	5	5			
改 築	1	1					1	1				
移 転												
修 繕												
模様替												
用途変更	4	2	2	1		1	3	2	1			
《構 造 別》												
耐火構造	11	8	3				11	8	3			
準耐火構造	6	5	1	2	2		4	3	1			
その他	47	28	19	31	19	12	16	9	7			

消防教室実施状況

(H27.3.31現在)

実施区分		対 象 数			参加人員			時 間			消防職員		
		合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市	合計	朝来市	養父市
総 数		296	172	124	13,922	8,215	5,707	437:25	244:55	192:30	746	471	275
地 区		36	26	10	1,577	1,329	248	50:25	31:40	18:45	74	52	22
婦 人 会		1	1		30	30		1:30	1:30		3	3	
老 人 会													
P T A		20	10	10	797	406	391	28:15	11:00	17:15	43	20	23
学 校		63	39	24	5,855	3,170	2,685	99:00	66:00	33:00	211	160	51
幼・保 育 所		27	18	9	1,353	874	479	29:50	21:30	8:20	95	73	22
事業所	公共施設	37	13	24	692	256	436	71:00	22:25	48:35	76	22	54
	病院・福祉施設	44	20	24	1,705	634	1,071	40:05	18:30	21:35	90	41	49
	旅館・ホテル	9	3	6	120	58	62	14:40	5:40	9:00	18	6	12
	店舗等	9	6	3	295	239	56	10:25	6:45	3:40	17	12	5
	工場等	17	12	5	836	713	123	23:00	16:35	6:25	35	25	10
消 防 団		8	2	6	186	63	123	23:45	6:00	17:45	29	8	21
そ の 他		25	22	3	476	443	33	45:30	37:20	8:10	55	49	6

危険物施設数及び立入検査回数

(H27.3.31現在)

危険物施設		総 数	朝 来 市					養 父 市					立入検査 回数	
			小 計	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	小 計	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	朝 来 署	養 父 署
総 数		342	163	39	75	28	21	179	65	30	13	71	103	130
製 造 所		3	2	2				1		1			2	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	31	18	8	7	2	1	13	8	2	2	1	17	14
	屋外タンク貯蔵所	36	28	10	6	7	5	8	3			5	29	8
	屋内タンク貯蔵所	17	7	4	2	1		10	7	1		2	7	11
	地下タンク貯蔵所	114	37	4	23	7	3	77	17	9	5	46	3	48
	簡易タンク貯蔵所	1	1			1								
	移動タンク貯蔵所	23	11	1	4	2	4	12	6	3		3	11	11
	屋 外 貯 蔵 所	4	4	2	2								1	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	53	26	2	16	4	4	27	13	6	3	5	27	31
	一 般 取 扱 所	60	29	6	15	4	4	31	11	8	3	9	6	6

危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

(H27.3.31現在)

危 険 物 施 設	総 数	変 更 許 可										設 置 許 可	
		構造に 関するもの		付属機器に 関するもの		配管に 関するもの		タンクに 関するもの		その他			
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総 数	34	9	9		6	2			1	1		3	3
製 造 所	3	1	2										
屋 内 貯 蔵 所	2											2	
屋外タンク貯蔵所													
屋内タンク貯蔵所	2					2							
地下タンク貯蔵所	5				3				1				1
簡易タンク貯蔵所													
移動タンク貯蔵所	3									1			2
屋 外 貯 蔵 所													
給 油 取 扱 所	7	1	3		3								
一 般 取 扱 所	12	7	4									1	

市別・数量別危険物施設数

(H27.3.31現在)

危険物施設	総 数	5倍以上		5倍を越え 10倍以下		10倍を越え 50倍以下		50倍を越え 100倍以下		100倍を越え 200倍以下		200倍を 越えるもの	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	342	76	54	33	49	28	56	7	10	11	7	8	3
製造所	3					1		1	1				
貯蔵所	226	60	39	23	39	19	39	2	3	2			
屋内貯蔵所	31	10	5	6	4	1	2		2	1			
屋外タンク貯蔵所	36	7	2	6		12	6	2		1			
屋内タンク貯蔵所	17	4	4	3	6								
地下タンク貯蔵所	114	25	16	8	29	4	31		1				
簡易タンク貯蔵所	1	1											
移動タンク貯蔵所	23	11	12										
屋外貯蔵所	4	2				2							
取扱所	113	16	15	10	10	8	17	4	6	9	7	8	3
給油取扱所(営業用)	36		1					3	5	9	7	8	3
給油取扱所(自家用)	17	3		1	2	2	9						
一般取扱所	60	13	14	9	8	6	8	1	1				

市別・類別危険物施設数

(H27.3.31現在)

危険物施設	総 数	1 類		2 類		3 類		4 類		5 類		6 類		混在	
		朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市	朝来市	養父市
総数	342				1			161	175	1	1			1	2
製造所	3							2							1
貯蔵所	226				1			105	118		1			1	
屋内貯蔵所	31				1			17	11		1			1	
屋外タンク貯蔵所	36							28	8						
屋内タンク貯蔵所	17							7	10						
地下タンク貯蔵所	114							37	77						
簡易タンク貯蔵所	1							1							
移動タンク貯蔵所	23							11	12						
屋外貯蔵所	4							4							
取扱所	113							54	57	1					1
給油取扱所(営業用)	36							20	16						
給油取扱所(自家用)	17							6	11						
一般取扱所	60							28	30	1					1

各種届出等受理状況

(H27.3.31現在)

届 出 別		地 域 別 合 計	朝 来 市	養 父 市
防火管理者選任(解任)届出書		146	97	49
消防計画届出書		205	119	86
消防用設備等着工届出書		60	38	22
消防用設備等工事計画届出書		60	30	30
消防用設備等設置届出書		172	103	69
消防用設備等緩和願		8	5	3
消防用設備等点検結果報告書		470	250	220
防火対象物定期点検結果報告書		41	15	26
防火自主点検結果報告書				
防火対象物使用開始届出書		89	51	38
火を使用する 設備等の設置 届出書	熱風炉			
	炉・かまど			
	ボイラー・給湯湯沸設備	12	8	4
	乾燥設備	1	1	
	サウナ設備			
	温風暖房機	3	1	2
電気設備 設置届出書	変電設備	22	15	7
	発電設備	5	2	3
	蓄電池設備	5	5	
	ネオン管灯設備			
劇場等の裸火使用許可申請書		12	10	2
合 計		1,311	750	561

警 防 編

警
防
編

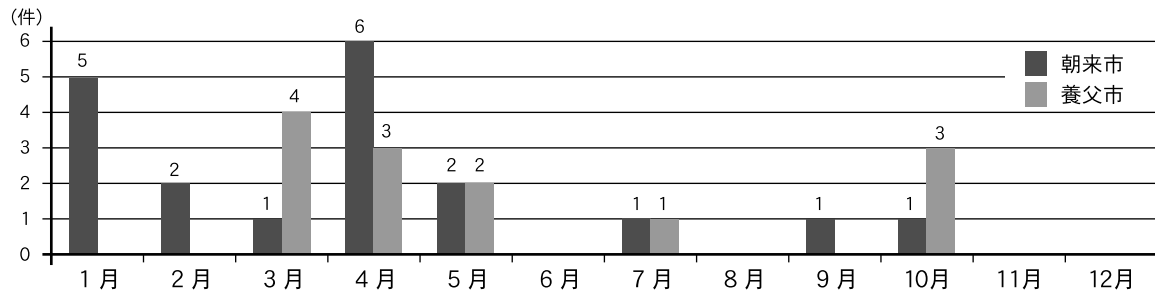
年次別火災発生状況

区 分		年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
出 火 件 数	総 数		29	34	37	36	32
	小 計		18	16	19	23	19
	朝 来 市	建 物 火 災	11	7	12	7	10
		林 野 火 災		3	2	3	1
		車 両 火 災	3	2	1	2	
		その他の火災	4	4	4	11	8
	小 計		11	18	18	13	13
	養 父 市	建 物 火 災	6	8	13	4	4
		林 野 火 災	1	1		2	
		車 両 火 災	1	3	3	2	2
		その他の火災	3	6	2	5	7
焼 損 棟 数	総 数		25	17	32	14	23
	小 計		17	8	15	9	11
	朝 来 市	全 焼	6	2	3	4	3
		半 焼	1	1	2	1	1
		部 分 焼	2	2	4		5
		ば や	8	3	6	4	2
	小 計		8	9	17	5	12
	養 父 市	全 焼	2	4	3	2	9
		半 焼	1	1	5	1	
		部 分 焼	4	1	3	2	
		ば や	1	3	6		3
焼 損 面 積	総 数	建 物【㎡】	1,409	1,252	1,924	967	1,466
		林 野 (a)	0	804	3	33	34
	朝来市	建 物【㎡】	1,311	532	754	595	423
		林 野 (a)		4	3	26	34
	養父市	建 物【㎡】	98	720	1,170	372	1,043
		林 野 (a)	0	800		7	

区 分		年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
り 災 世 帯	総 数		17	16	18	4	9
	小 計		10	7	8	3	6
	朝 来 市	全 損	4	1	1	2	1
		半 損	1	1	1		
		小 損	5	5	6	1	5
	小 計		7	9	10	1	3
	養 父 市	全 損		4	3		1
		半 損	3	1	3	1	
		小 損	4	4	4		2
り 災 人 員	総 数		45	44	54	7	20
	朝 来 市		29	19	23	5	12
	養 父 市		16	25	31	2	8
損 害 額 (千円)	総 数		67,442	91,452	144,098	38,753	59,814
	小 計		48,818	59,316	70,172	34,957	12,445
	朝 来 市	建 物	48,238	59,252	70,128	33,621	11,212
		林 野		0	0	556	453
		車 両	535	63	37	190	2
		そ の 他	45	1	7	590	778
	小 計		18,624	32,136	73,926	3,796	47,369
	養 父 市	建 物	18,604	18,168	73,405	3,404	46,318
		林 野	0	12,500		30	
		車 両	0	493	521	273	1,046
		そ の 他	20	975	0	89	5
死 傷 者	総 数	死 者	2	3	3		1
		負 傷 者	4	7	8	4	5
	朝 来 市	死 者	1		1		1
		負 傷 者		1	3	3	2
	養 父 市	死 者	1	3	2		
		負 傷 者	4	6	5	1	3

月別火災発生状況

種 別 \ 月 別		総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		32	5	2	5	9	4		2		1	4		
朝 来 市	小 計	19	5	2	1	6	2		1		1	1		
	建物火災	10	5	1	1	1	1				1			
	林野火災	1				1								
	車両火災													
	その他の火災	8		1		4	1		1			1		
養 父 市	小 計	13			4	3	2		1			3		
	建物火災	4			1	1						2		
	林野火災													
	車両火災	2							1			1		
	その他の火災	7			3	2	2							

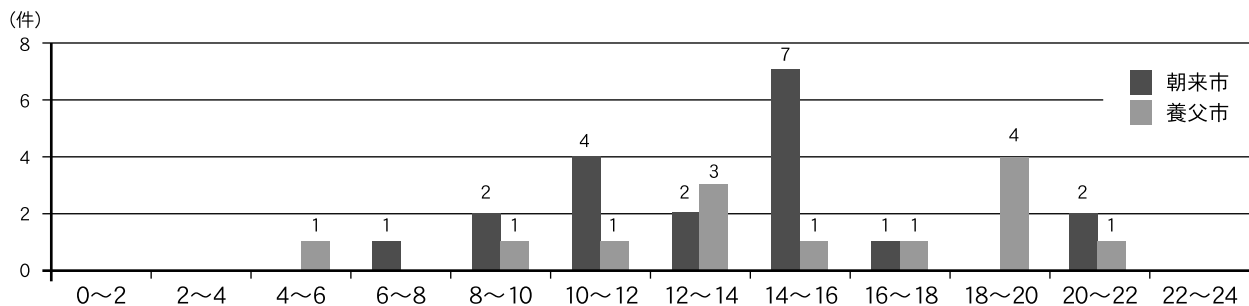


曜日別火災発生状況

種 別 \ 曜日別		総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		32	2	2	7	8	1	2	10
朝 来 市	小 計	19	2	2	4	5	1	1	4
	建物火災	10	2	1	2	1	1		3
	林野火災	1						1	
	車両火災								
	その他の火災	8		1	2	4			1
養 父 市	小 計	13			3	3		1	6
	建物火災	4			1	2			1
	林野火災								
	車両火災	2			1				1
	その他の火災	7			1	1		1	4

時間別火災発生状況

時間別 種 別		総数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		32			1	1	3	5	5	8	2	4	3	
朝 来 市	小 計	19				1	2	4	2	7	1		2	
	建物火災	10				1	1	4	1	1			2	
	林野火災	1								1				
	車両火災													
	その他の火災	8					1		1	5	1			
養 父 市	小 計	13			1		1	1	3	1	1	4	1	
	建物火災	4			1				1		1	1		
	林野火災													
	車両火災	2										1	1	
	その他の火災	7					1	1	2	1		2		



使用した消防水利

消防水利	平成26年					平成25年
	総 数	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	
総 数	14	8	1	1	4	19
自然水利	3	3				4
防火水槽	2	2				
消 火 栓	2	1	1			2
積載水等	7	2		1	4	13

(事後聞知6件及び、放水なしの12件除く)

覚知から現場到着までの所要時間

地域別 時間別		総 数	5分未満	5～10分	11～15分	16～20分	20分以上	平 均
総 数		26	1	6	13	6		12.7
朝 来 市	小 計	15		3	8	4		13.6
	生 野	1		1				8.0
	和 田 山	3		2		1		12.6
	山 東	3			2	1		14.6
	朝 来	8			6	2		14.2
養 父 市	小 計	11	1	3	5	2		11.6
	八 鹿	2		1		1		14.0
	養 父	2			2			11.5
	大 屋	5	1	2	2			8.6
	関 宮	2			1	1		17.0

(事後聞知6件除く)

放水開始から鎮火までの所要時間

地域別 時間別		総 数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上	平均
総 数		14	2	2	5	1	1			3	407.9
朝 来 市	小 計	10		2	5	1	1			1	31.3
	生 野										
	和 田 山	1				1					23.0
	山 東	2			2						16.5
	朝 来	7		2	3		1			1	36.7
養 父 市	小 計	4	2							2	1,349.5
	八 鹿	1	1								5.0
	養 父	1	1								5.0
	大 屋	2								2	2,694
	関 宮										

(事後聞知6件及び、放水なしの12件除く)

出 火 原 因

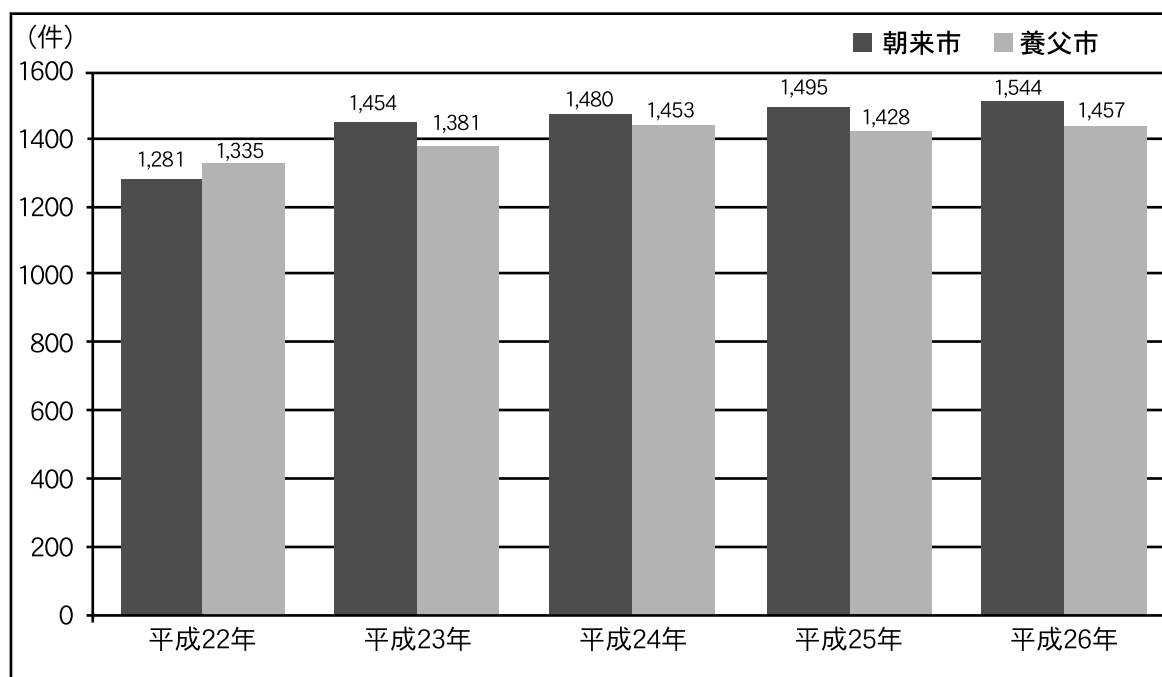
区 分		平 成 2 6 年					平 成 2 5 年				
		総 数	建 物	林 野	車 両	その他	総 数	建 物	林 野	車 両	その他
総 数		32	14	1	2	15	36	11	5	4	16
裸 火	タ バ コ	2	2								
	虫 焼 火	1				1					
	焼 却 火	8	1	1		6	13	1	3		9
	火 入 れ						2		1		1
	火 の 粉	1				1					
	虫 駆 除 の 火	1				1					
人 的	火 あ そ び						1	1			
	放火(放火の疑い)	2			1	1	2	1	1		
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ	2	2				1	1			
	こ ん ろ						2	2			
	風 呂 か ま ど	1	1								
	石 油 機 器	1	1								
	ガ ス 機 器										
	草焼きバーナー						1				1
	ハンドトーチ	1	1								
電 気 関 係	ス ト ー ブ										
	こ た つ										
	制 御 盤	1	1								
	配 線 等						2	1			1
車 両	交 通 事 故										
	エ ン ジ ン										
	排 気 管						1			1	
	そ の 他										
そ の 他	金属と金属の衝突火花						3			2	1
	列車ブレーキの火花	3				3	3				3
	焼 却 炉						1	1			
	粉 殻	1	1								
	スプレー缶の過熱	1	1								
	不 明	6	3		1	2	4	3		1	

用途別火災発生状況

用途別 区分		火災発生件数 (件)	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	焼 損 棟 数 (棟)	死 傷 者	
			建 物				死 者 (人)	負 傷 者 (人)
			床面積 (㎡)	表面積 (㎡)				
総 数		32	1,466	32	59,814	23	1	5
建 物 火 災	住 宅	8	392	30	33,469	9		3
	遊 技 場							
	飲 食 店							
	店 舗							
	旅 館・ホ テ ル							
	病院・福祉施設							
	学 校							
	神 社 ・ 寺 院							
	工 場 ・ 作 業 場	4	1,058	2	25,281	12	1	2
	倉 庫							
	車 庫							
	養鶏舎・養畜舎	1	7		60	1		
	事務所・官公署							
	そ の 他	1	9		81	1		
林 野 火 災		1			62			
車 両 火 災		2			856			
そ の 他 の 火 災	田 畑	3			0			
	空 地	2			0			
	軌 道 敷	3			0			
	河 川 敷	1			0			
	そ の 他	6			5			

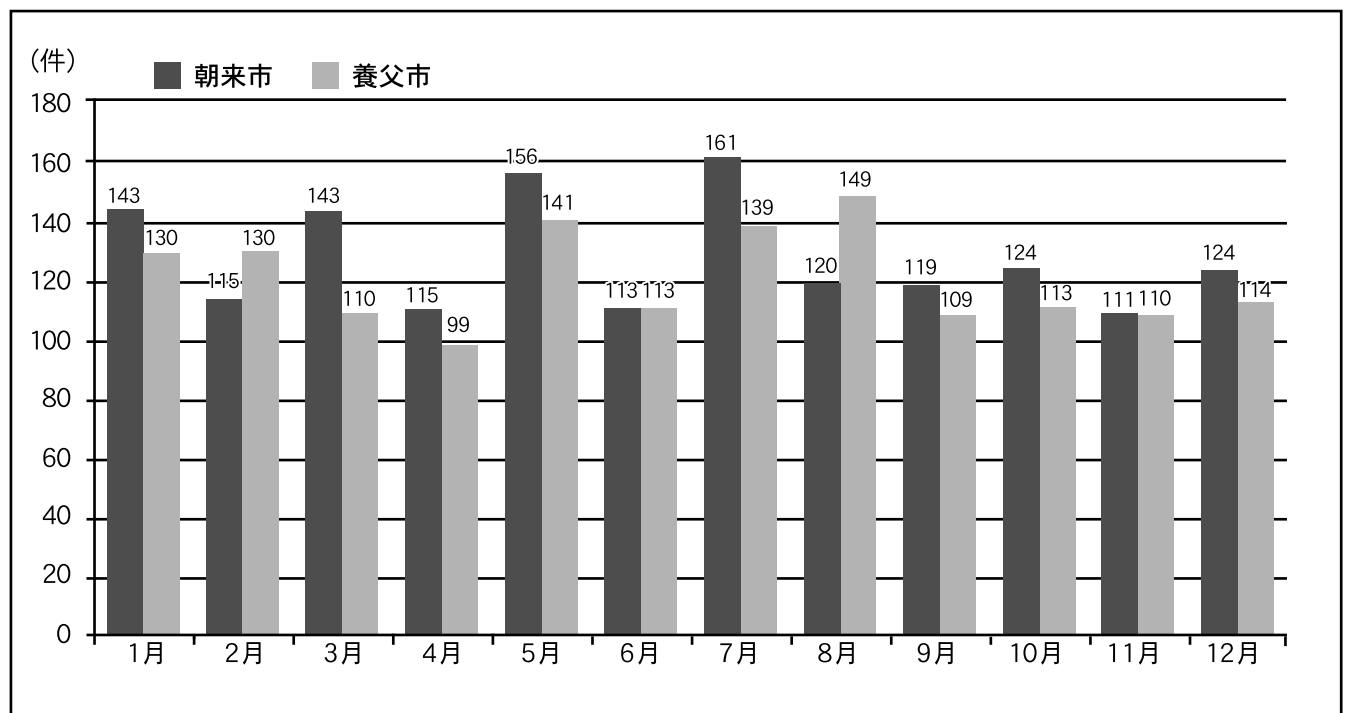
年次別救急出動状況

種 別 \ 年別		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
総 数		2,619	2,839	2,935	2,929	3,006
朝 来 市	小計	1,281	1,454	1,480	1,495	1,544
	交通事故	151	165	142	179	155
	一般負傷	216	238	254	219	235
	急病	741	845	903	909	970
	転院搬送	109	139	111	109	94
	その他	64	67	70	79	90
養 父 市	小計	1,335	1,381	1,453	1,428	1,457
	交通事故	155	106	102	111	121
	一般負傷	194	229	183	206	271
	急病	675	693	765	795	793
	転院搬送	237	268	300	208	167
	その他	74	85	103	108	105
管外	小計	3	4	2	6	5



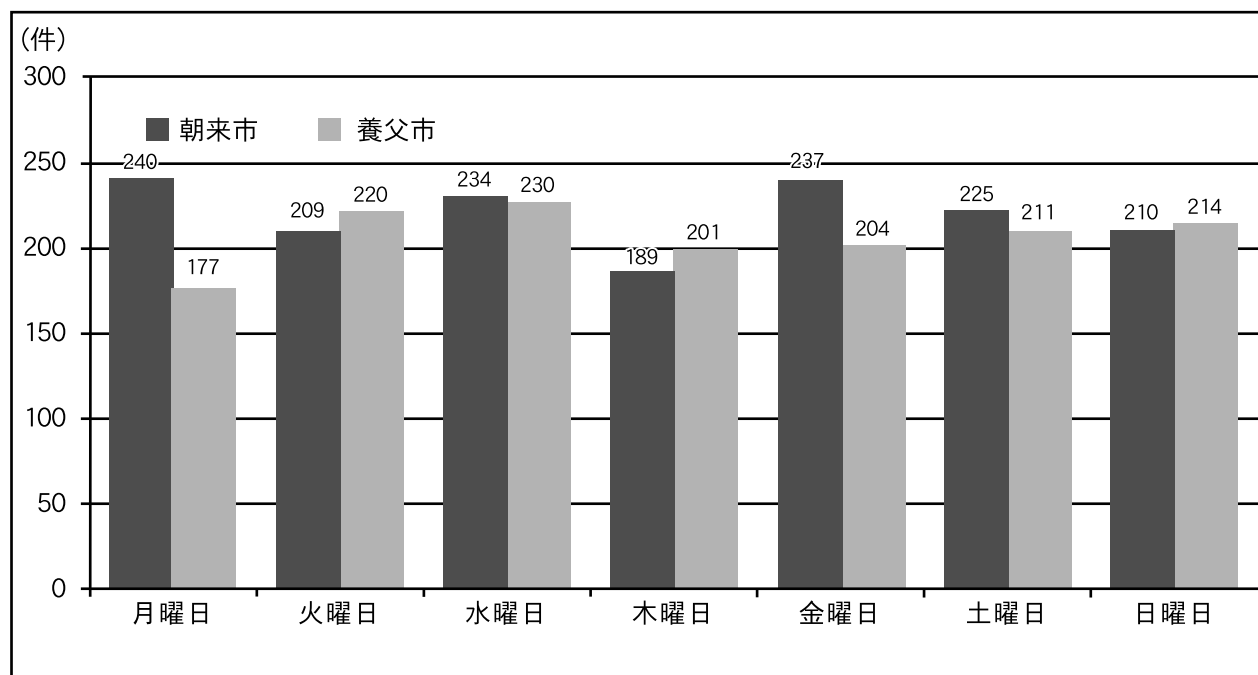
月別救急出動状況

種 別	月 別	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総 数		3,006	273	245	256	214	297	226	300	269	228	237	223	238
朝 来 市	小 計	1,544	143	115	143	115	156	113	161	120	119	124	111	124
	交通事故	155	16	9	22	19	18	4	11	16	15	10	5	10
	一般負傷	235	22	17	25	23	18	13	22	18	15	19	26	17
	急病	970	89	73	82	57	97	75	110	76	79	78	69	85
	転院搬送	94	7	5	9	8	11	8	9	7	5	11	4	10
	その他	90	9	11	5	8	12	13	9	3	5	6	7	2
養 父 市	小 計	1,457	130	130	110	99	141	113	139	149	109	113	110	114
	交通事故	121	7	10	15	9	19	3	14	10	6	10	5	13
	一般負傷	271	28	30	19	17	28	18	22	23	23	19	22	22
	急病	793	72	73	56	55	74	72	67	83	63	63	59	56
	転院搬送	167	13	13	10	13	9	11	23	18	12	14	13	18
	その他	105	10	4	10	5	11	9	13	15	5	7	11	5
管外	小 計	5			3								2	



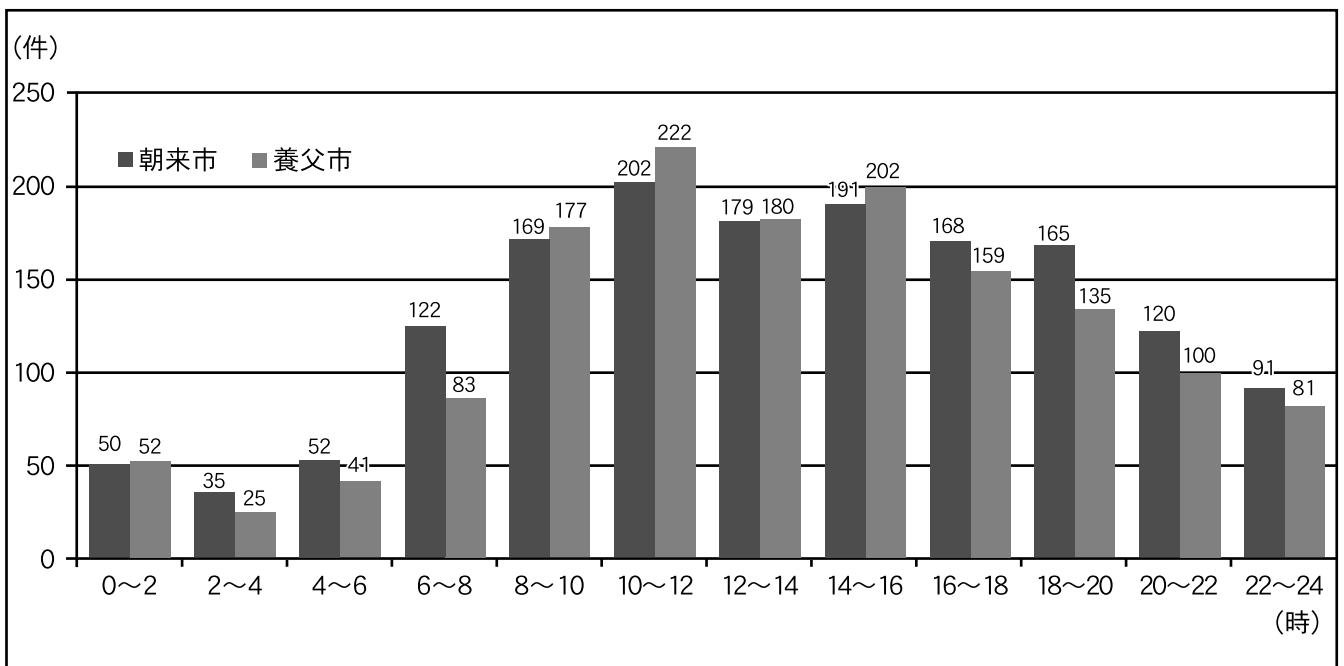
曜日別救急出動状況

種 別	曜日別	総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		3,006	417	429	464	390	441	439	426
朝 来 市	小計	1,544	240	209	234	189	237	225	210
	交通事故	155	19	18	30	13	22	26	27
	一般負傷	235	34	27	27	29	41	38	39
	急病	970	156	134	151	121	137	141	130
	転院搬送	94	21	16	11	13	20	10	3
	その他	90	10	14	15	13	17	10	11
養 父 市	小計	1,457	177	220	230	201	204	211	214
	交通事故	121	8	23	15	17	15	17	26
	一般負傷	271	35	41	36	40	32	43	44
	急病	793	101	97	132	109	119	116	119
	転院搬送	167	21	38	34	21	24	17	12
	その他	105	12	21	13	14	14	18	13
管外	小計	5						3	2



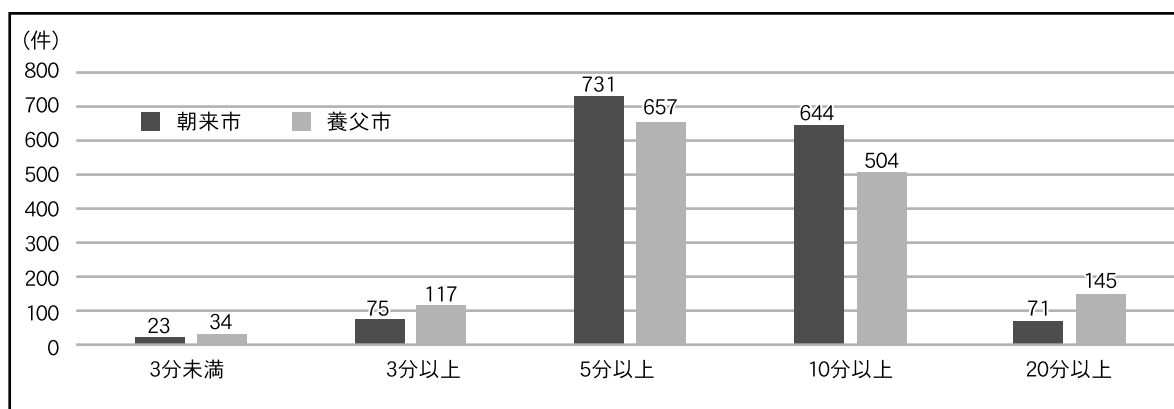
時間別救急出動状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		3,006	102	60	93	205	347	425	359	393	330	300	220	172
朝 来 市	小計	1,544	50	35	52	122	169	202	179	191	168	165	120	91
	交通事故	155	3	1	6	12	8	35	12	29	26	15	7	1
	一般負傷	235	7	2	7	26	29	32	33	24	29	25	13	8
	急病	970	39	31	37	80	104	85	104	117	89	111	93	80
	転院搬送	94				1	15	29	17	6	11	11	3	1
	その他	90	1	1	2	3	13	21	13	15	13	3	4	1
養 父 市	小計	1,457	52	25	41	83	177	222	180	202	159	135	100	81
	交通事故	121		4	4	7	18	16	16	20	17	16	2	1
	一般負傷	271	7	5	5	20	32	34	35	49	32	22	16	14
	急病	793	40	15	29	56	93	102	72	94	80	76	75	61
	転院搬送	167	2				19	46	41	17	17	14	6	5
	その他	105	3	1	3		15	24	16	22	13	7	1	
管外	小計	5					1	1			3			



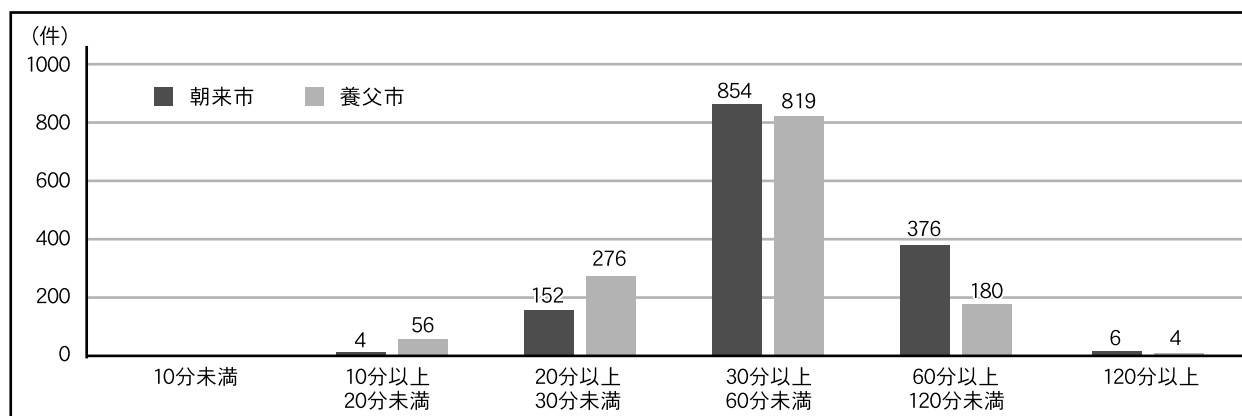
覚知から現場到着までの所要時間状況

市 別	時間別	総 数	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	現場到着平均所要時間(分)
総数		3,006	57	193	1,388	1,151	217	10.3
朝来市		1,544	23	75	731	644	71	9.9
養父市		1,457	34	117	657	504	145	10.6
管外		5		1		3	1	13.6



覚知から医療機関収容までの所要時間状況

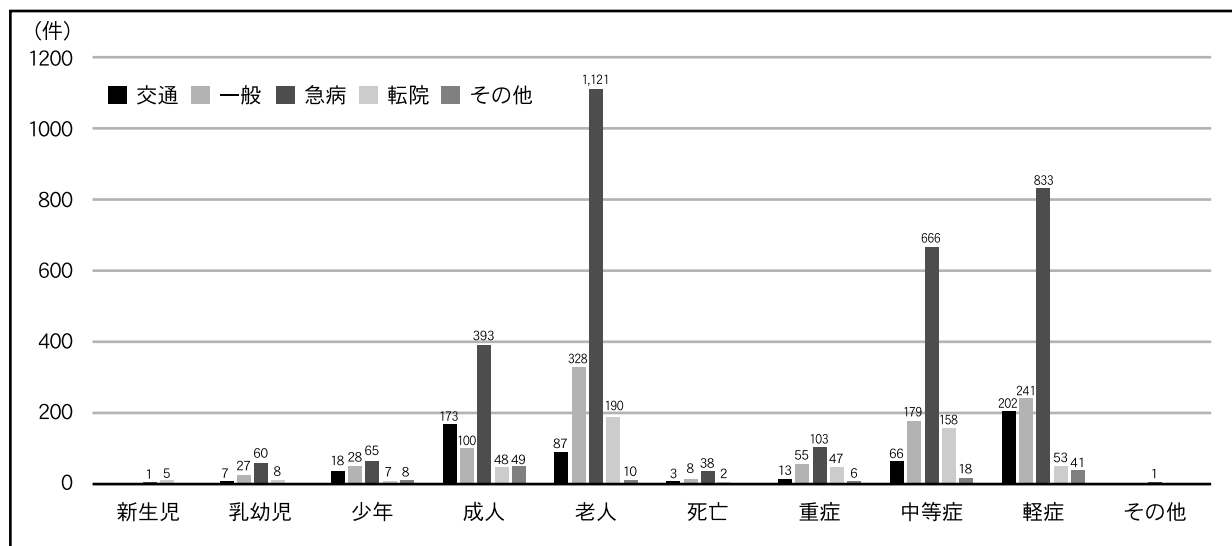
市 別	時間別	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	病院収容 平均所要 時間(分)
総数		2,733		60	428	1,678	557	10	45.9
朝来市		1,392		4	152	854	376	6	49.8
養父市		1,335		56	276	819	180	4	41.9
管外		6				5	1		54.5



年齢・傷病程度別搬送人員

種別 \ 区分	総数	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	死亡	重症	中等症	軽症	その他
総数	2,733	6	102	126	763	1,736	51	224	1,087	1,370	1
交通事故	285		7	18	173	87	3	13	66	202	1
一般負傷	483		27	28	100	328	8	55	179	241	
急病	1,640	1	60	65	393	1,121	38	103	666	833	
転院搬送	258	5	8	7	48	190		47	158	53	
その他	67			8	49	10	2	6	18	41	

※ 重症…3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症…入院加療を必要としないもの
 その他…医師の診断のないもの



ドクターヘリ・ドクターカー月別要請状況

種別 \ 月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数	1,188	103	101	90	75	114	80	117	108	87	101	102	110
交通事故	109	8	7	14	5	15	2	9	15	9	7	6	12
一般負傷	154	16	15	13	15	8	10	11	15	15	13	15	8
急病	854	73	68	60	51	84	62	88	70	59	76	77	86
転院搬送	25	2	2	1	2	2	2	4	2		3	2	3
その他	46	4	9	2	2	5	4	5	6	4	2	2	1

医療機関別・事故種別搬送状況

医療機関		種 別	総 数	比率(%)	交通	一般	急病	転院	その他
総 数			2,733	100	285	483	1,640	258	67
管内	小 計		1,587	58.0	128	315	1,007	110	27
	病 院	八 鹿 病 院	1,341	49.0	100	235	888	98	20
		和田山医療センター	215	7.9	28	76	98	6	7
		その他の病院	17	0.6		2	11	4	
	診 療 所 等		11	0.4		1	10		
	そ の 他		3	0.1		1		2	
管外	小 計		1,146	42.0	157	168	633	148	40
	病 院	豊 岡 病 院 (ドクターヘリ含む)	979	35.8	149	139	534	125	32
		神崎総合病院	108	4.0	4	24	69	6	5
		その他の病院	59	2.2	4	5	30	17	3
	診 療 所 等								

※ドクターヘリで搬送した場合は豊岡病院への搬送として集計しています。

医療機関別・市別搬送状況

医療機関		市 別	総 数	朝 来 市	比率(%)	養 父 市	比率(%)	管 外
総 数			2,733	1,392	100	1,335	100	6
朝来市内医療機関	小 計		238	212	15.2	26	2.0	
	和田山医療センター		215	191	13.7	24	1.8	
	そ の 他 の 病 院		17	16	1.1	1	0.1	
	診 療 所 等		6	5	0.4	1	0.1	
	そ の 他							
養父市内医療機関	小 計		1,349	502	36.1	844	63.2	3
	八 鹿 病 院		1,341	500	36.0	838	62.8	3
	そ の 他 の 病 院							
	診 療 所 等		5	2	0.1	3	0.2	
	そ の 他		3		0.0	3	0.2	
管外	小 計		1,146	678	48.7	465	34.8	3
	豊岡病院(ドクターヘリ含む)		979	524	37.6	452	33.8	3
	神崎総合病院		108	108	7.8			
	そ の 他 の 病 院		59	46	3.3	13	0.1	
	診 療 所 等							

救急隊の行った応急処置状況

処置 種別	総数	固定	酸素 吸入	心肺 蘇生	血圧 測定	血中 酸素	心電図	除細動	静脈路 確保	薬剤 投与	器具による 気道確保	その他
総 数	12,560	503	824	61	2,565	2,650	2,122	11	18	13	40	3,753
交通事故	1,467	244	89	2	268	272	174		1	1	1	415
一般負傷	2,190	185	74	11	454	467	297		4	1	8	689
急 病	7,551	41	542	45	1,548	1,596	1,420	11	13	11	31	2,293
そ の 他	1,352	33	119	3	295	315	231					356

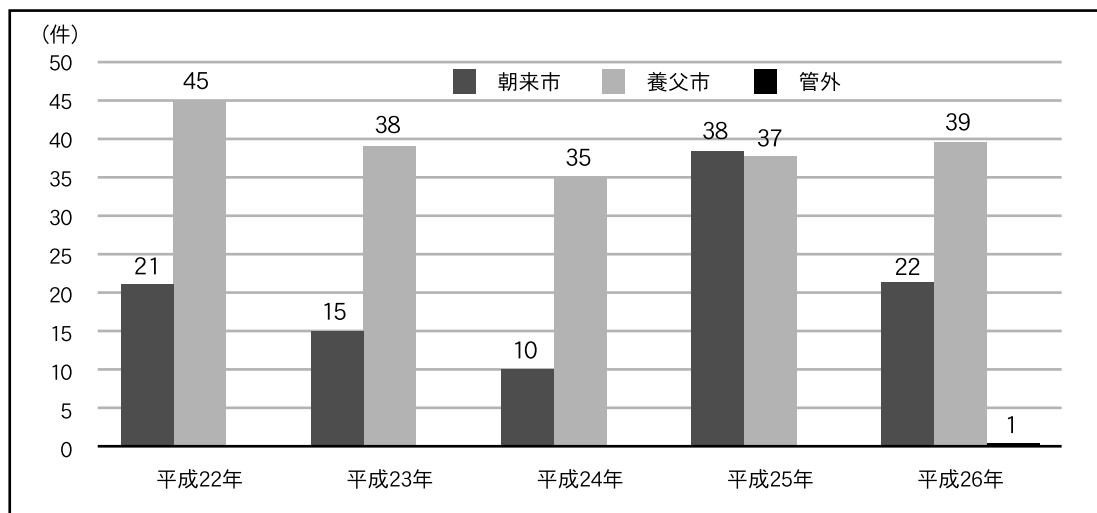
普通救命講習実施状況

区 分	受講回数	受講者数
学 校 関 係	12回	217人
事 業 所 等	16回	197人
消 防 団	8回	188人
市 職 員	1回	17人
そ の 他	18回	348人
総 数	55回	967人



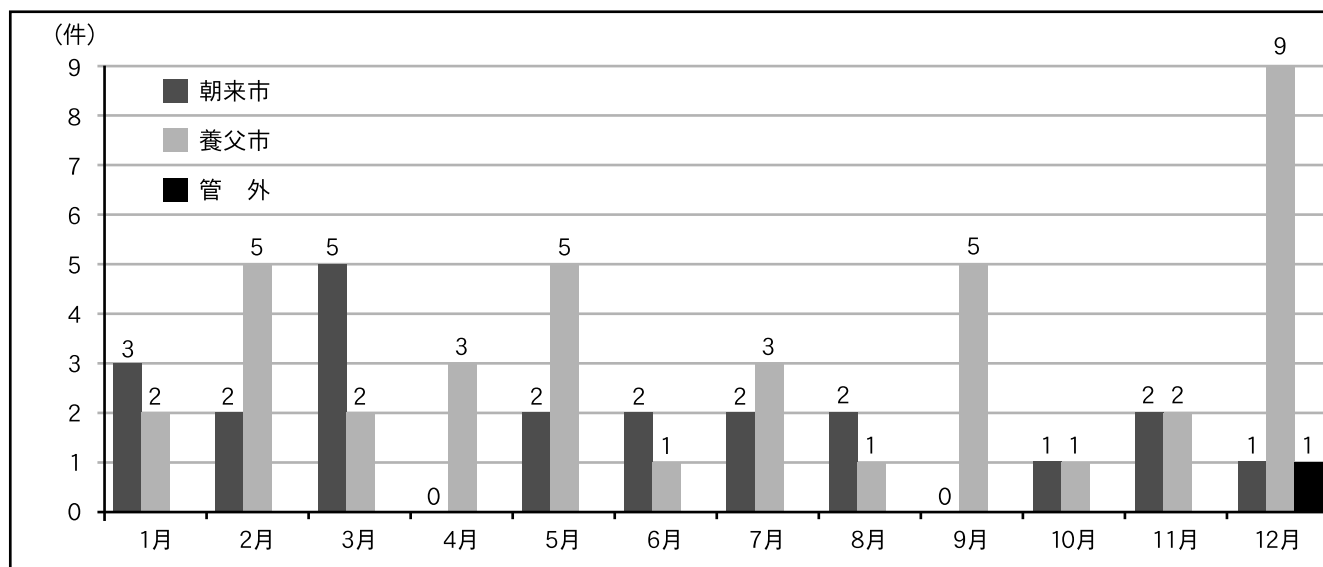
年次別救助発生状況

種別 \ 年別		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
総 数		66	53	45	75	62
朝来市	小 計	21	15	10	38	22
	火 災					
	交 通 事 故	12	10	5	28	16
	水 難 事 故	1			1	2
	自 然 災 害	1				
	機械による事故		2		1	
	建物等による事故				1	
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	7	3	5	7	4
養父市	小 計	45	38	35	37	39
	火 災		3	4		1
	交 通 事 故	26	23	21	19	26
	水 難 事 故			1	1	
	自 然 災 害				1	
	機械による事故	2	2	2		2
	建物等による事故					
	ガス及び酸欠事故					
	破 裂 事 故					
	そ の 他	17	10	7	16	10
管外	小 計					1



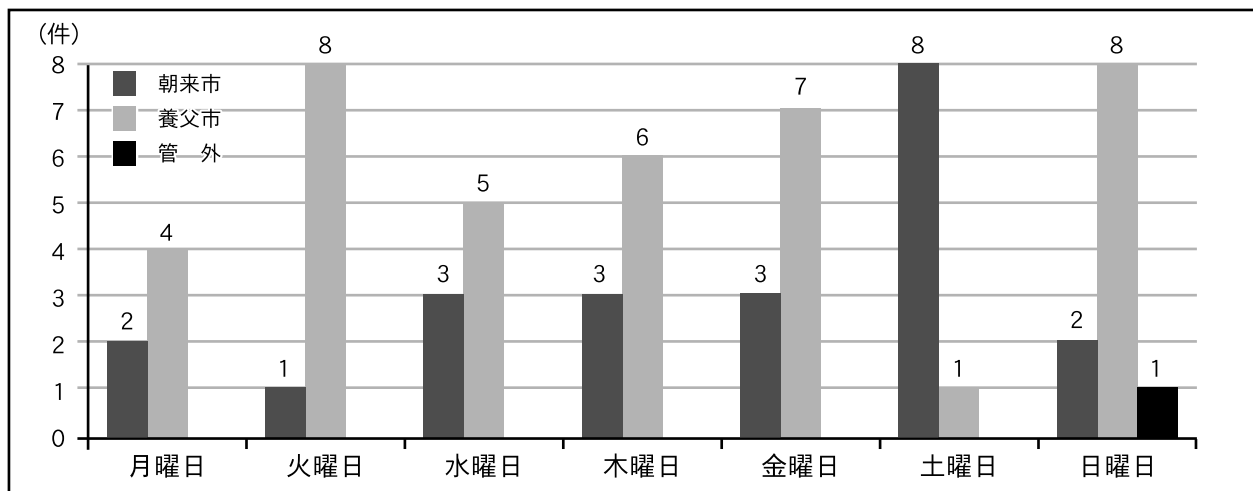
月別救助発生状況

種別	月別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		62	5	7	7	3	7	3	5	3	5	2	4	11
朝来市	小計	22	3	2	5		2	2	2	2		1	2	1
	火災													
	交通事故	16	2	2	3		2	1	2	2		1		1
	水難事故	2	1		1									
	自然災害													
	機械による事故													
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	4			1			1					2	
養父市	小計	39	2	5	2	3	5	1	3	1	5	1	2	9
	火災	1												
	交通事故	26	1	4	2	2	2		2	1	3		2	7
	水難事故													
	自然災害													
	機械による事故	2	1								1			
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破裂事故													
	その他	10		1		1	3	1	1		1			2
管外	小計	1												1



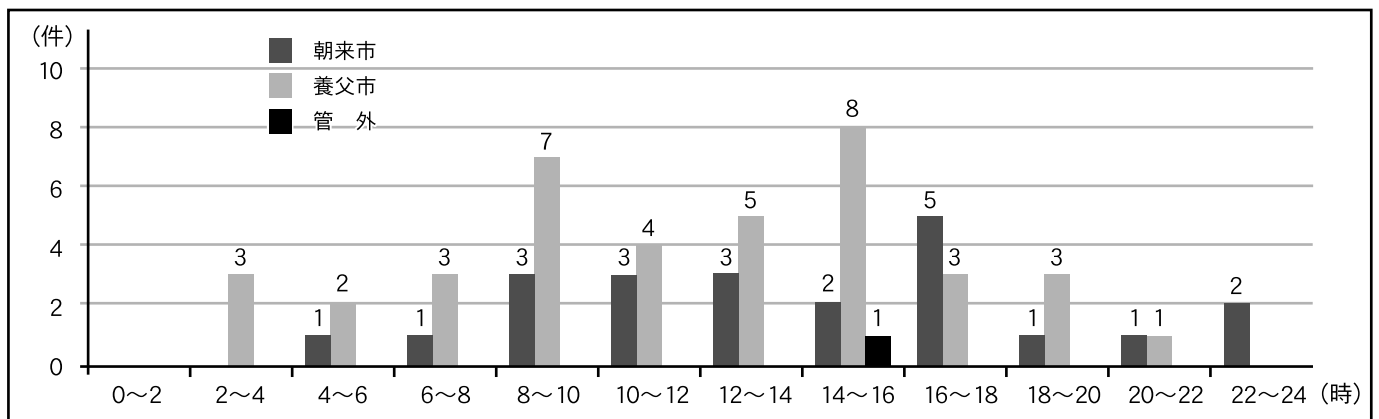
曜日別救助発生状況

種別	曜日別	総 数	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
総 数		62	6	9	8	9	10	9	11
朝 来 市	小 計	22	2	1	3	3	3	8	2
	火 災								
	交 通 事 故	16	2		3	2	2	6	1
	水 難 事 故	2					1	1	
	自 然 災 害								
	機械による事故								
	建物等による事故								
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	4		1		1		1	1
養 父 市	小 計	39	4	8	5	6	7	1	8
	火 災	1				1			
	交 通 事 故	26	3	4	5	5	4	1	4
	水 難 事 故								
	自 然 災 害								
	機械による事故	2		2					
	建物等による事故								
	ガス及び酸欠事故								
	破 裂 事 故								
	そ の 他	10	1	2			3		4
管外	小 計	1							1



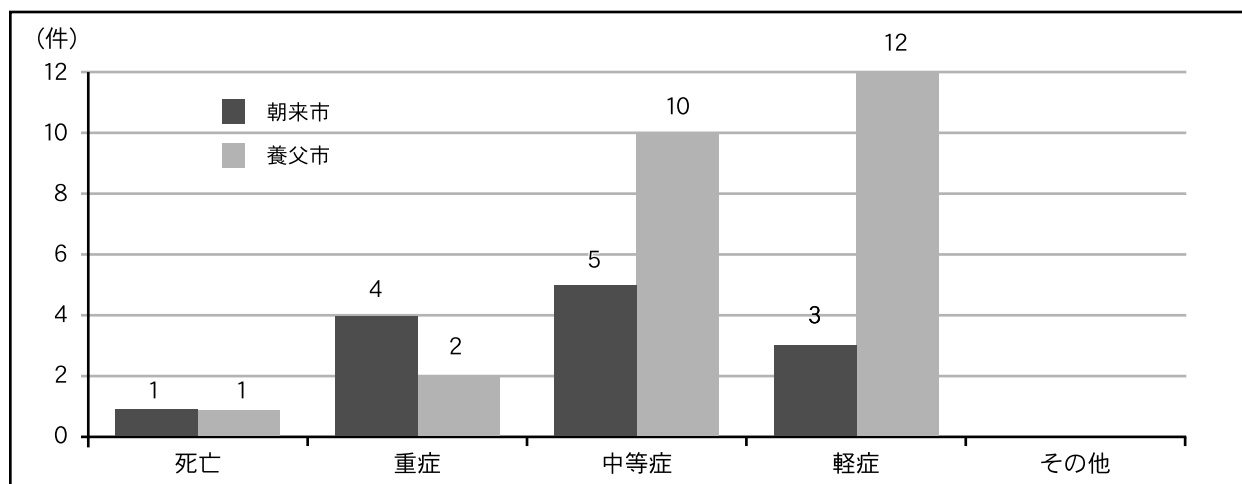
時間別救助発生状況

種 別 \ 時間別		総 数	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
総 数		62		3	3	4	10	7	8	11	8	4	2	2
朝 来 市	小 計	22			1	1	3	3	3	2	5	1	1	2
	火 災													
	交 通 事 故	16			1	1	1	3	1	2	4	1	1	1
	水 難 事 故	2							1		1			
	自 然 災 害													
	機械による事故													
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	4					2		1					1
養 父 市	小 計	39		3	2	3	7	4	5	8	3	3	1	
	火 災	1			1									
	交 通 事 故	26		3	1	1	5	2	5	4	3	2		
	水 難 事 故													
	自 然 災 害													
	機械による事故	2								2				
	建物等による事故													
	ガス及び酸欠事故													
	破 裂 事 故													
	そ の 他	10				2	2	2		2		1	1	
管外	小 計	1								1				



事故種別・傷病程度別状況

種 別		傷病程度					
		救 助 人 員					
		総 数	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
総 数		38	2	6	15	15	
朝 来 市	小 計	13	1	4	5	3	
	火 災						
	交 通 事 故	10	1	3	4	2	
	水 難 事 故						
	風 水 害						
	機械による事故						
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	3		1	1	1	
養 父 市	小 計	25	1	2	10	12	
	火 災	1				1	
	交 通 事 故	19		1	8	10	
	水 難 事 故						
	風 水 害						
	機械による事故						
	建物等による事故						
	ガス及び酸欠事故						
	破 裂 事 故						
	そ の 他	5	1	1	2	1	



気象観測状況

区 分		年 間	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
気温 (℃)	平 均	13.7	2.5	2.9	7.0	11.5	17.6	21.7	25.4	25.1	20.6	15.5	10.7	3.4
	最 高	36.0	13.5	19.0	22.6	26.1	31.9	33.7	36.0	34.5	30.6	26.2	22.5	16.0
	最 低	-6.1	-6.1	-3.9	-3.7	-1.5	2.7	14.3	18.2	18.7	10.2	4.6	1.5	-3.8
相対 湿度 (%)	平 均	75.9	80.9	77.0	72.9	62.9	61.0	70.4	72.5	77.1	74.2	86.3	88.5	86.8
	最 高	98.6	93.7	93.2	93.4	92.3	91.5	90.7	91.0	91.8	97.5	98.3	98.5	98.6
	最 低	7.6	31.0	26.7	17.3	8.7	7.6	13.1	29.9	40.8	25.6	25.3	32.9	32.9
実効 湿度 (%)	平 均	75.9	81.7	76.7	73.5	62.9	61.7	69.4	73.1	76.1	74.4	85.4	88.4	86.9
	最 高	93.2	85.4	83.6	80.3	72.3	70.7	77.1	80.1	82.6	79.5	88.9	92.6	93.2
	最 低	53.8	71.8	68.8	65.7	54.1	55.1	53.8	65.1	65.3	69.5	79.8	79.3	73.4
平均 風速 m/s	平 均	1.7	1.4	2.0	2.1	1.6	2.2	1.6	1.6	1.6	1.5	1.6	1.3	1.5
	最 高	10.8	7.5	9.3	8.6	8.0	10.3	7.9	7.4	8.0	8.6	10.8	7.8	8.8
天 候	晴	177	10	6	14	20	22	14	22	10	24	16	14	5
	くもり	119	13	15	8	6	9	14	5	12	4	8	10	15
	雨	56	7	2	7	4		2	4	9	2	6	6	7
	雪	13	1	5	2							1		4
降水量 (mm)	降水量	1,745.0	109.0	96.0	155.0	61.0	55.5	53.5	131.0	458.5	143.5	282.5	78.0	121.5
	最高/日	140.5	22.0	28.0	38.5	12.0	31.0	18.5	46.0	101.5	60.5	140.5	22.5	20.0
	降水日	145	13	14	17	9	6	12	12	15	8	12	12	15
積雪 (cm)	最深積雪	29	21	20	6									29
	積雪日	24	9	7	2									6

消防用機器の配置状況

平成27年 3月31日現在

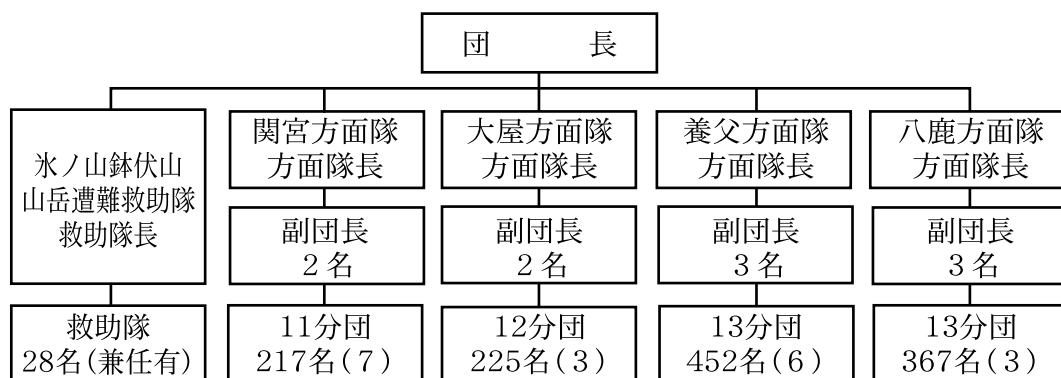
名 称		朝来署	養父署	名 称		朝来署	養父署
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設I型	1		救 助 資 材	耐熱服	2	2
	119番専用回線(携帯等含)	8回線			空気呼吸器	18	14
	C A T V 119番回線	5回線			エンジンカッター	2	1
	119番 F A X 受信装置	1			エアークッター	2	1
	無線統制台	1			エッジローラー	1	2
	消防無線陸上移動局/車載	13	10		チルホール	4	2
	消防無線陸上移動局/携帯	13	14		チェーンソー	3	1
	フェニックス防災システム	1			ルーカスレスキューツール	1式	1式
	告知放送設備	4	1		マット型空気ジャッキ	1	1
	簡易車両動態システム	6	4		救助マット	1	1
	消防職団員参集メールシステム	1			緩降機	1	1
消 防 資 機 材	ホース(65mm)	105	83	救 助 資 材	送排風機	1	1
	ホース(50mm)	141	180		救命索発射銃	1	1
	C級可搬式ポンプ	2	1		舟型担架	3	2
	D級可搬式ポンプ		1		スケッドストレッチャー	2	2
	ジェットシューター	26	25		ガス溶断機	1	1
	高発泡器	1	1		エアソー	1	1
	組立式布水槽	3	2		グラスソー	2	1
救 急 資 機 材	C A F S 薬剤		100ℓ		化学防護服	3	
	A E D(自動体外式除細動器)	7	2		防護服	5	4
	半自動除細動器	4	3		防毒マスク	14	14
	患者監視装置	3	3		マンホール救助器具	1式	1式
	パルスオキシメーター	5	3		電動鉄線カッター		1
	喉頭鏡	6	4		ガス測定器	2	2
	気管挿管セット	4	3		車両移動器具		1
	呼吸管理器具	6	3		削岩機	1	1
	自動式心マッサージ器	2	3		酸素呼吸器		2
	陰圧式固定具	4	4		簡易画像探索器	1	1
	スクープストレッチャー	5	4		距離測定器		1
	バックボード	7	6		G P S ハンディナビ	1	3
	脊柱固定器具	7	6		ハンマードリル		1
	在宅療法セット	3	3		セイバーソー		1
	高度救急シミュレーター	2	2		エアータント	2式	1式
	静脈注射訓練モデル	1	1		ウェットスーツ I 式	5	6
	心肺蘇生訓練用人形	15	19		救命胴衣	11	35
	A E D トレーナー	10	7		救命浮輪	4	5
	ショートボード	1	2		救助用ボート	1	1
					船外機	1	1

協力団体

消 防 団

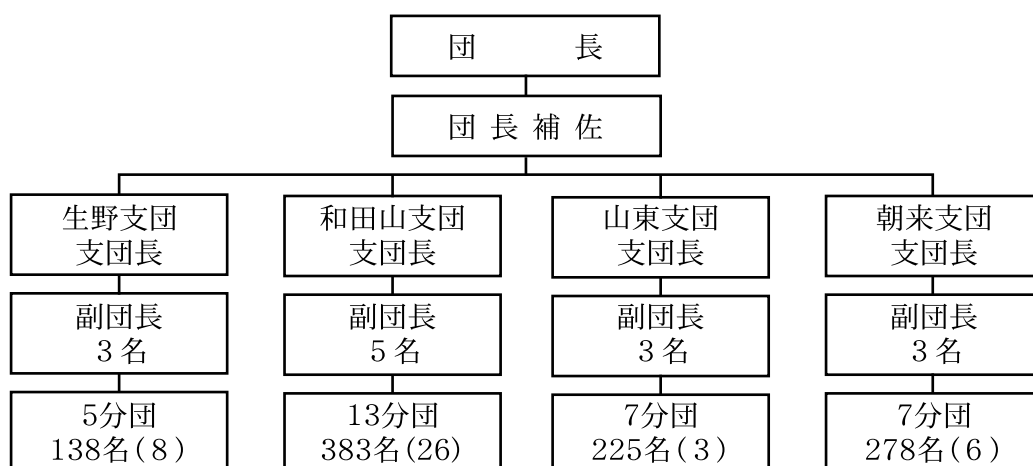
平成27年4月1日現在

● 養父市消防団組織図（総員1,286名）



()内は女性団員

● 朝来市消防団組織図（総員1,026名）



()内は女性団員

● 消防団との連携

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実践的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

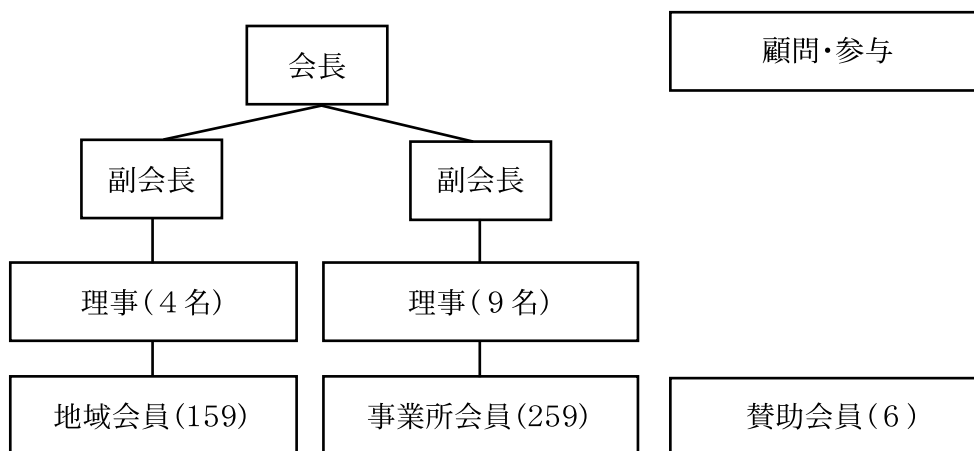
平成26年度消防団との合同訓練内容

養 父 市	11月 9日	八鹿方面隊との合同消防訓練	八鹿町伊佐
	1月25日	養父方面隊との文化財防火合同消防訓練	養父市広谷
	3月 8日	大屋方面隊との合同消防訓練	大屋町筏
朝 来 市	11月 6日	JR列車事故対応合同訓練(和田山支団)	JR和田山駅
	11月 9日	和田山支団夜間消防合同訓練	和田山町久田和
	11月 9日	山東支団消防合同訓練	山東町栗鹿
	1月25日	赤湊神社文化財合同消防訓練(和田山支団)	和田山町枚田
	3月 1日	朝来支団建物火災訓練	朝来市桑市
	3月15日	生野支団合同訓練	生野中学校

朝来市自主防災推進協議会の現況

協議会組織図

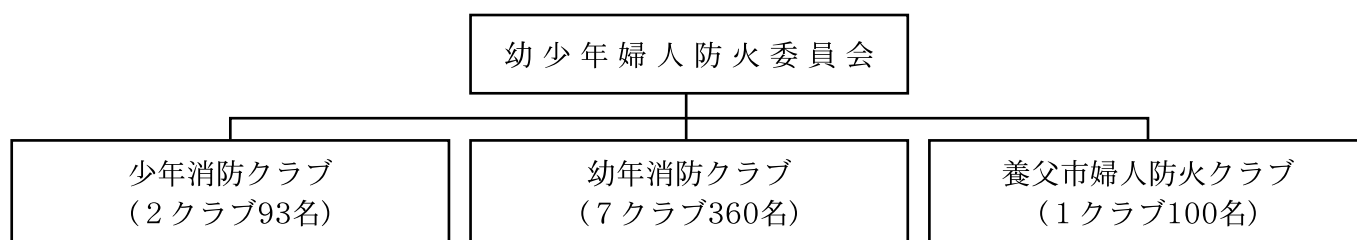
(H27.4.1 現在)



養父市幼少年婦人防火委員会の現況

防火委員会組織図

(H27.4.1 現在)

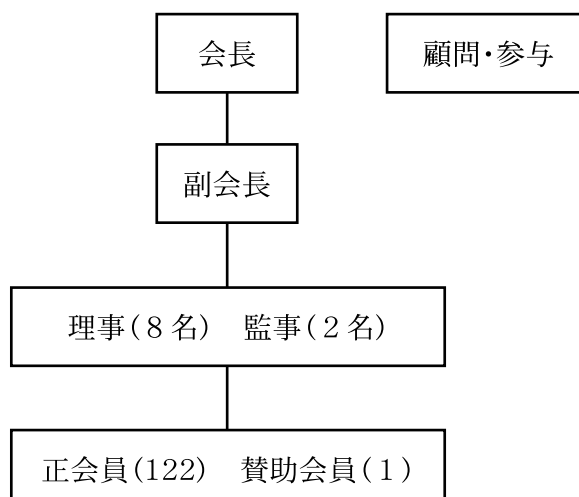


※人数は各クラブの報告による

南但危険物安全協会の現況

協会組織図

(H27.4.1 現在)





写真提供 吉田利栄 氏

竹田城跡(朝来市)



氷ノ山(養父市)